

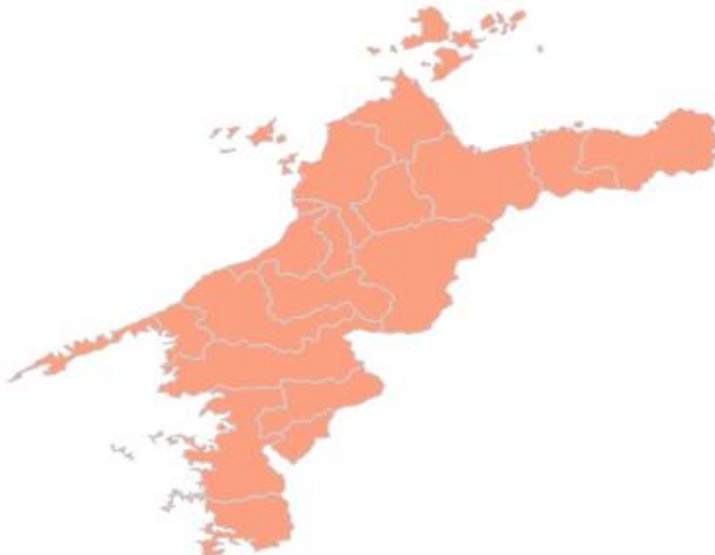
四国がんセンター

医療機関名	独立行政法人 国立病院機構 四国がんセンター
-------	------------------------

施設基本情報

所在地	松山市南梅本町甲160番
病床数	368床 (ICU:4床、緩和ケア:25床、一般:339床) 2022年7月現在
がん診療連携拠点病院指定日	2002.03.15
データ収集期間	2022.01.01～2022.12.31 (2022年診断症例)
平均在院日数	11.6日
入院患者のべ数	105,734人
外来患者のべ数	121,989人
院内がん登録件数	2,430件
院内がん登録件数 上位3部位 (症例区分80を除く)	乳房:461件 肺:376件 前立腺:214件
実務者のうち「院内がん登録実務研修」修了者	初級者3名、中級者3名 (2023年1月現在)
診療科	<p>呼吸器内科 呼吸器外科 乳腺外科 婦人科 消化器内科 消化器外科 耳鼻いんこう科 泌尿器科 循環器内科 整形外科 血液腫瘍内科 精神腫瘍科 放射線診断科 放射線治療科 麻酔科 形成外科 皮膚科 歯科口腔外科 リハビリテーション科 緩和ケア内科 病理診断科 感染症・腫瘍内科</p> <p>【全22科】 (2022年1月現在)</p>

担当医療圏: 愛媛県下全域



担当医療圏における患者住所の割合:

95.4%

県内担当医療圏外の割合:

0.0%

県外患者住所の割合:

4.6%

国立病院機構四国がんセンターは愛媛県がん診療拠点病院として愛媛県全体のがん診療をまとめる役割を担っています。また、がん研究センター中央病院を始めとする 32 施設が参加する全国がんセンター協議会（全がん協）のメンバーでもあります。2022 年 11 月には全がん協施設長会議を松山で開催し、愛媛県のがん登録状況は全国でも高い評価を得ています。今後も院内がん登録の発展と質の向上に貢献してゆきたいと考えています。

2022 年診断症例の院内がん登録集計から見る当院の特徴は、

- 1) 施設のある中予だけでなく、広く県全域から患者さんが集まって来ています。
- 2) 乳房、子宮などが多いため、全国・愛媛県と比較して女性の若年層の患者が占める割合が高く、また肺がん、前立腺がんの患者数が多い事も特徴です。
- 3) 2022 年のがん登録数は 2,430 件で、愛媛県下のがん患者の約 17%に当たります。前年と比較して約 30 件増加しており、新型コロナウイルス感染拡大による愛媛県下の医療体制の変化が要因のひとつではないかと考えております。
- 4) 当院は、70 歳以上の高齢者のがんも更に増加傾向で、他院からの紹介症例や、他施設でがんと診断された症例が多いのも特徴です。

がんの治療法は抗がん剤治療を中心に近年大きく変化してきており、手術領域では内視鏡手術・ロボット支援手術の増加や適応拡大、放射線治療でも高精度放射線治療による副作用低減や適応の拡大、そしてがんゲノム診断・治療では臓器別の治療法からがん遺伝子解析結果をふまえた治療法選択へと大きく様変わりしはじめています。

四国がんセンターは 2019 年 9 月からがんゲノム医療拠点病院に指定を受け、2023 年 4 月には四国内で唯一の拠点病院として、県内外の連携施設も参加するゲノム医療専門家会議を当院主催で毎週ウェブ開催しています。また、原発不明がん診療科、遺伝性がん診断科、ハイリスク検診の外来診療体制を整えており、高度かつ先進の診断・治療の実践と 1 次治療後の再発などへの支援体制（がんゲノム専門家会議、先進医療、治験など）を整備しています。

がん診療連携拠点病院などの整備指針が見直され、「誰一人取り残さないがん対策の推進」を目標に、在宅医療も含めた関連医療施設と密接に連携し、地域のがん診療への対応力向上に努め、がんになっても安心して暮せる地域共生社会の構築を目指します。

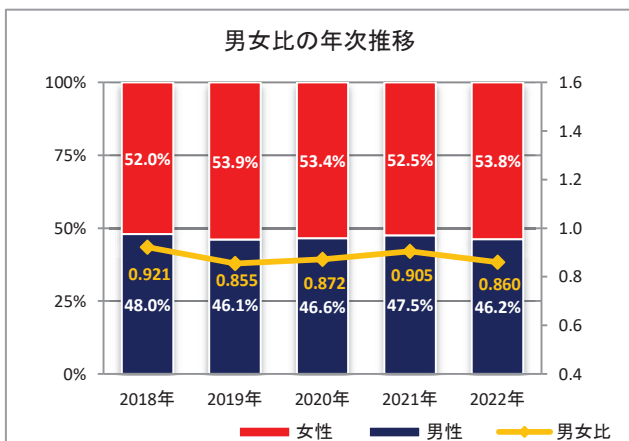
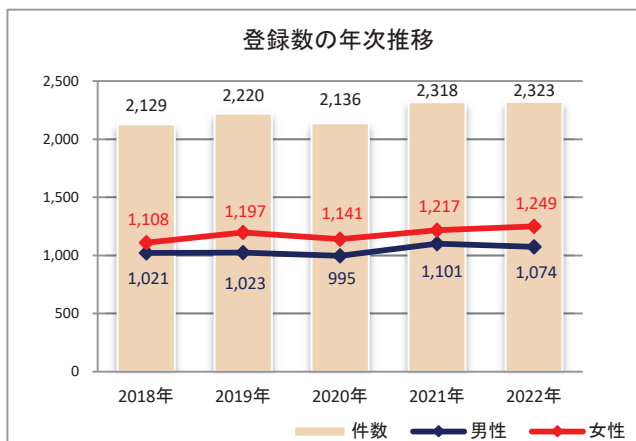
四国がんセンター 院長 山下 素弘

1. 年次推移と部位別登録数

1-1. 登録数の年次推移

診断年	2018年		2019年		2020年		2021年		2022年	
【症別区分8.80を含む】	件数	(%)	件数	(%)	件数	(%)	件数	(%)	件数	(%)
全体	2,268		2,363		2,207		2,401		2,430	
男性	1,110	(48.9%)	1,111	(47.0%)	1,044	(47.3%)	1,147	(47.8%)	1,130	(46.5%)
女性	1,158	(51.1%)	1,252	(53.0%)	1,163	(52.7%)	1,254	(52.2%)	1,300	(53.5%)
全体	2,129		2,220		2,136		2,318		2,323	
男性	1,021	(48.0%)	1,023	(46.1%)	995	(46.6%)	1,101	(47.5%)	1,074	(46.2%)
女性	1,108	(52.0%)	1,197	(53.9%)	1,141	(53.4%)	1,217	(52.5%)	1,249	(53.8%)
男女比	0.921		0.855		0.872		0.905		0.860	

*男女比は女性を1としたときの男性の比率



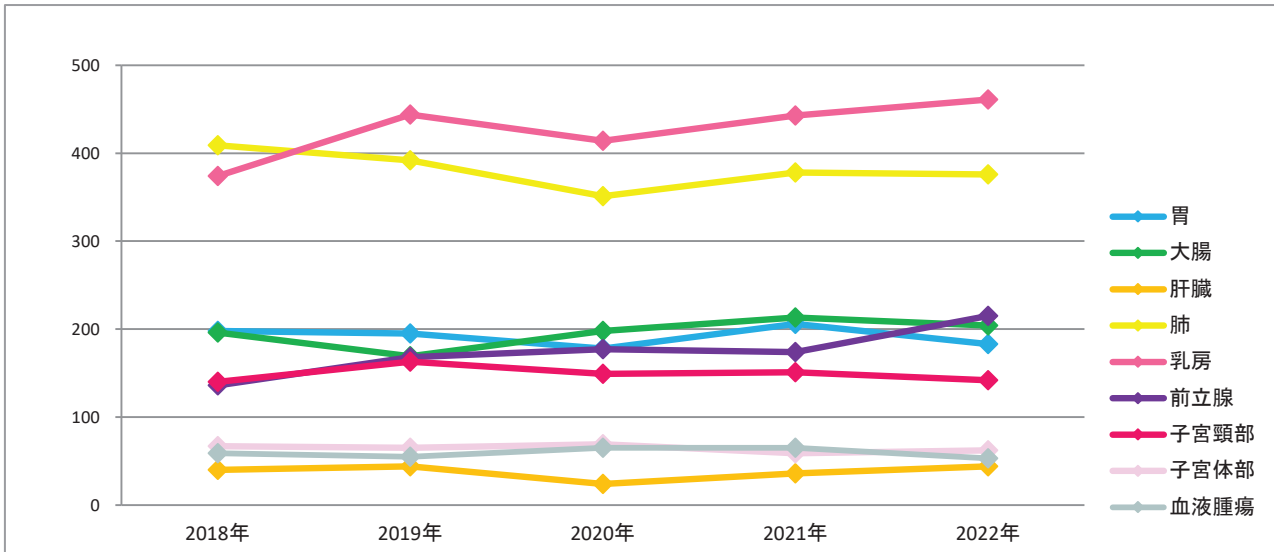
1-2. 登録数の年次推移(部位別)

診断年	2018年		2019年		2020年		2021年		2022年	
	件数	(%)	件数	(%)	件数	(%)	件数	(%)	件数	(%)
口腔・咽頭	63	(3.0%)	59	(2.7%)	57	(2.7%)	83	(3.6%)	58	(2.5%)
食道	76	(3.6%)	60	(2.7%)	61	(2.9%)	72	(3.1%)	75	(3.2%)
胃	198	(9.3%)	195	(8.8%)	178	(8.3%)	206	(8.9%)	183	(7.9%)
結腸	107	(5.0%)	96	(4.3%)	121	(5.7%)	127	(5.5%)	112	(4.8%)
直腸	89	(4.2%)	73	(3.3%)	77	(3.6%)	86	(3.7%)	92	(4.0%)
肝臓	40	(1.9%)	44	(2.0%)	24	(1.1%)	36	(1.6%)	44	(1.9%)
胆嚢・胆管	18	(0.8%)	22	(1.0%)	24	(1.1%)	25	(1.1%)	31	(1.3%)
膵臓	101	(4.7%)	82	(3.7%)	83	(3.9%)	86	(3.7%)	87	(3.7%)
喉頭	(7~9)	--	(7~9)	--	13	(0.6%)	14	(0.6%)	(7~9)	--
肺	409	(19.2%)	392	(17.7%)	351	(16.4%)	378	(16.3%)	376	(16.2%)
骨・軟部	12	(0.6%)	13	(0.6%)	19	(0.9%)	19	(0.8%)	11	(0.5%)
皮膚(黒色腫を含む)	(7~9)	--	27	(1.2%)	24	(1.1%)	22	(0.9%)	34	(1.5%)
乳房	374	(17.6%)	444	(20.0%)	414	(19.4%)	443	(19.1%)	461	(19.8%)
子宮頸部	140	(6.6%)	163	(7.3%)	149	(7.0%)	151	(6.5%)	142	(6.1%)
子宮体部	67	(3.1%)	65	(2.9%)	69	(3.2%)	59	(2.5%)	62	(2.7%)
子宮	0	--	0	--	0	--	(1~3)	--	0	--
卵巣	30	(1.4%)	33	(1.5%)	32	(1.5%)	34	(1.5%)	40	(1.7%)
前立腺	136	(6.4%)	168	(7.6%)	177	(8.3%)	174	(7.5%)	215	(9.3%)
膀胱	45	(2.1%)	60	(2.7%)	49	(2.3%)	76	(3.3%)	57	(2.5%)
腎・他の尿路	44	(2.1%)	50	(2.3%)	47	(2.2%)	49	(2.1%)	44	(1.9%)
脳・中枢神経系	(1~3)	--	(1~3)	--	(1~3)	--	(4~6)	--	(1~3)	--
甲状腺	35	(1.6%)	37	(1.7%)	40	(1.9%)	34	(1.5%)	43	(1.9%)
悪性リンパ腫	42	(2.0%)	37	(1.7%)	47	(2.2%)	48	(2.1%)	37	(1.6%)
多発性骨髄腫	(1~3)	--	(7~9)	--	(7~9)	--	(4~6)	--	10	(0.4%)
白血病	(4~6)	--	(4~6)	--	(7~9)	--	(7~9)	--	(4~6)	--
他の造血器腫瘍	(7~9)	--	(4~6)	--	(4~6)	--	(4~6)	--	(1~3)	--
その他	68	(3.2%)	72	(3.2%)	61	(2.9%)	74	(3.2%)	92	(4.0%)
合計	2,129		2,220		2,136		2,318		2,323	

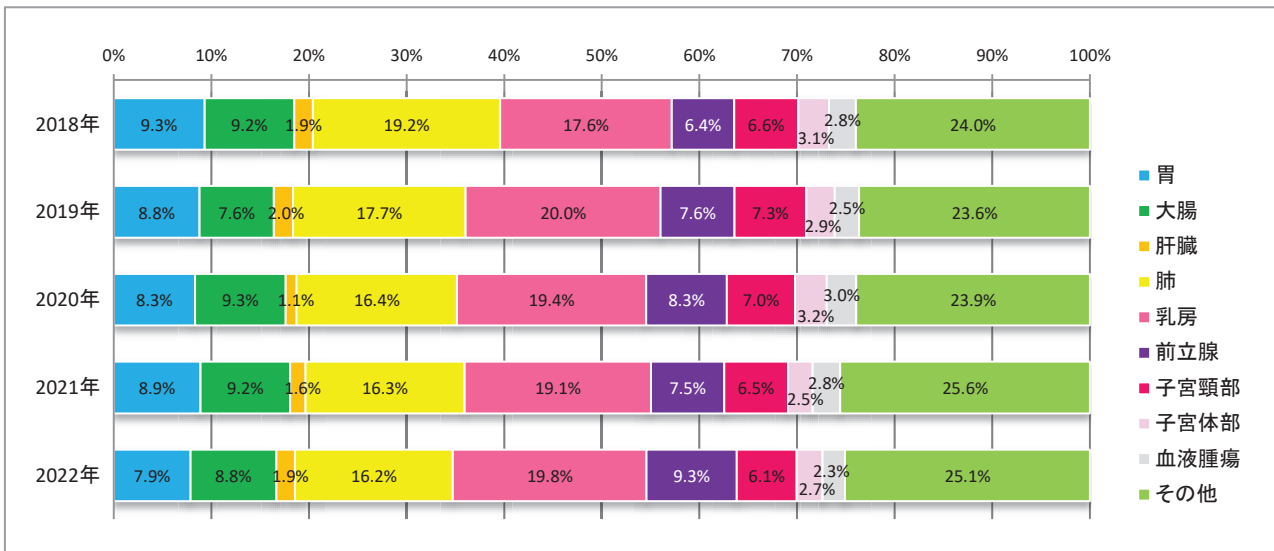
*説明ポイント① 登録数は前年より29件増加した。

*説明ポイント② 部位別登録数をみると、女性特有の疾患の割合が高い。

1-3. 部位別登録数の推移

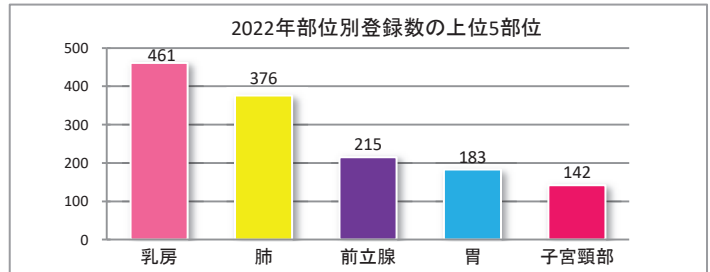


1-4. 登録数の部位別の割合



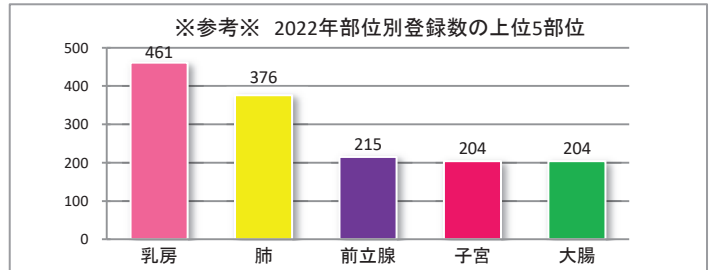
1-5. 部位別登録数の上位5部位

順位	2021年		2022年	
	部位名	件数	部位名	件数
1	乳房	443	乳房	461
2	肺	378	肺	376
3	胃	206	前立腺	215
4	前立腺	174	胃	183
5	子宮頸部	151	子宮頸部	142



※参考※ 結腸・直腸の合計を『大腸』、子宮頸部・子宮体部・子宮NOSの合計を『子宮』、悪性リンパ腫・多発性骨髄腫・白血病・他の血液腫瘍の合計を『血液腫瘍』としてまとめた場合の上位5部位

順位	2021年		2022年	
	部位名	件数	部位名	件数
1	乳房	443	乳房	461
2	肺	378	肺	376
3	大腸	213	前立腺	215
4	子宮	211	子宮	204
5	胃	206	大腸	204

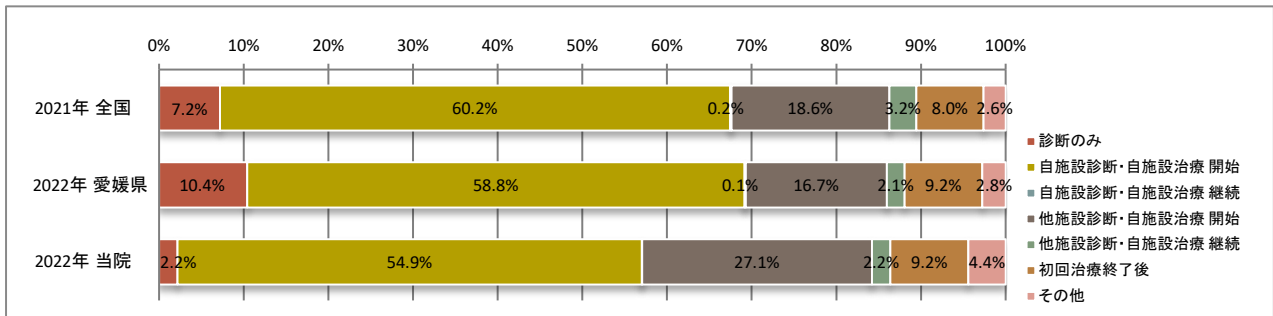


2. 症例区分

2-1. 症例区分(症例区分80を含む)

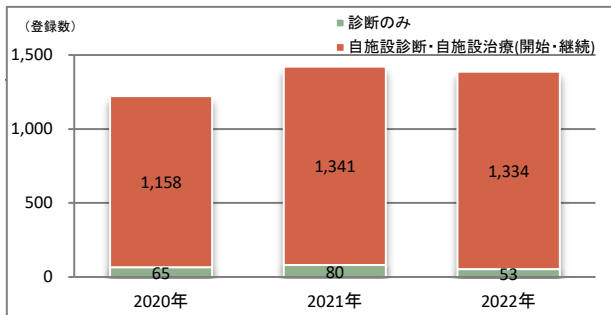
診断年	2020年		2021年		2022年	
	件数	(%)	件数	(%)	件数	(%)
診断のみ	65	(2.9%)	80	(3.3%)	53	(2.2%)
自施設診断・自施設治療 開始	1,156	(52.4%)	1,340	(55.8%)	1,333	(54.9%)
自施設診断・自施設治療 継続	(1~3)	—	(1~3)	—	(1~3)	—
他施設診断・自施設治療 開始	658	(29.8%)	668	(27.8%)	659	(27.1%)
他施設診断・自施設治療 継続	56	(2.5%)	42	(1.7%)	53	(2.2%)
初回治療終了後	199	(9.0%)	187	(7.8%)	224	(9.2%)
その他	71	(3.2%)	83	(3.5%)	107	(4.4%)

2-2. 症例区分 愛媛県全体・全国値との比較(症例区分80を含む)



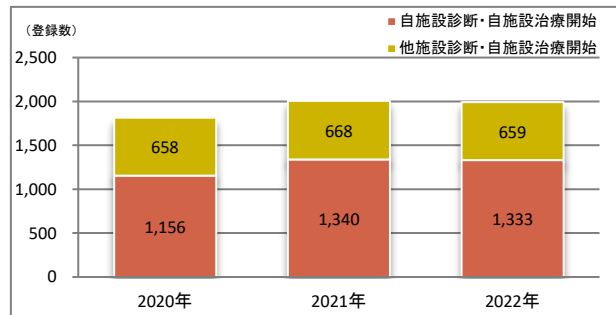
2-3. 自施設でがんと診断した症例の年次推移

(診断のみ、自施設診断・自施設治療開始、自施設診断・自施設治療継続)



2-4. 自施設初回治療開始症例の年次推移

(自施設診断・自施設治療開始、他施設診断・自施設治療開始)



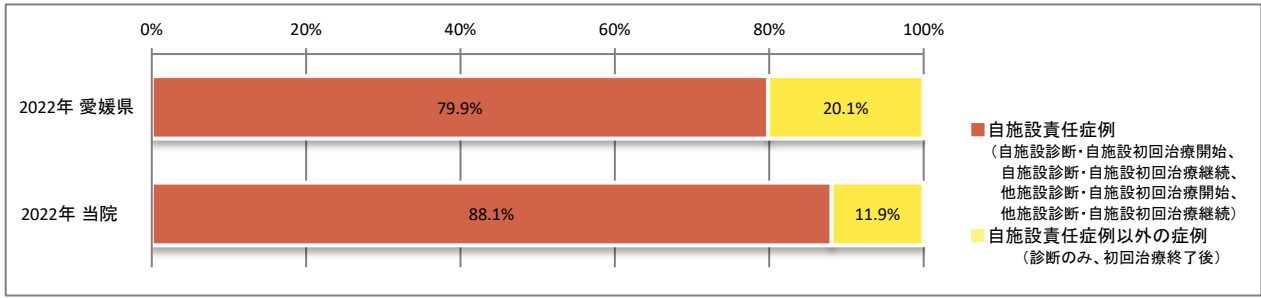
2-5. 2022年診断の症例区分の診断施設・治療施設マトリクス(症例区分80を含む)

診断施設 \ 治療施設	自施設診断 (当該腫瘍について「がん」と診断された最も確かと考えられる検査が自施設初診後に行われた症例)	他施設診断 (当該腫瘍について「がん」と診断された最も確かと考えられる検査が自施設初診前にすでに行われていた症例)
	自施設で初回治療せず	<診断のみ> 53
自施設で初回治療開始	<自施設診断・自施設治療開始> 1,333	<他施設診断・自施設治療開始> 659
初回治療継続	<自施設診断・自施設治療継続> (1~3)	<他施設診断・自施設治療継続> 53
初回治療終了後	<初回治療終了後> 0	<初回治療終了後、その他> 235
その他	<その他> 0	<その他> 0

※表中の<>は診断施設・治療施設から選択される症例区分

*説明ポイント③ 症例区分を全国・愛媛県と比較すると「診断のみ」が少なく「他施設診断・自施設初回治療開始」が多い。

2-6. 自施設責任症例の割合の比較

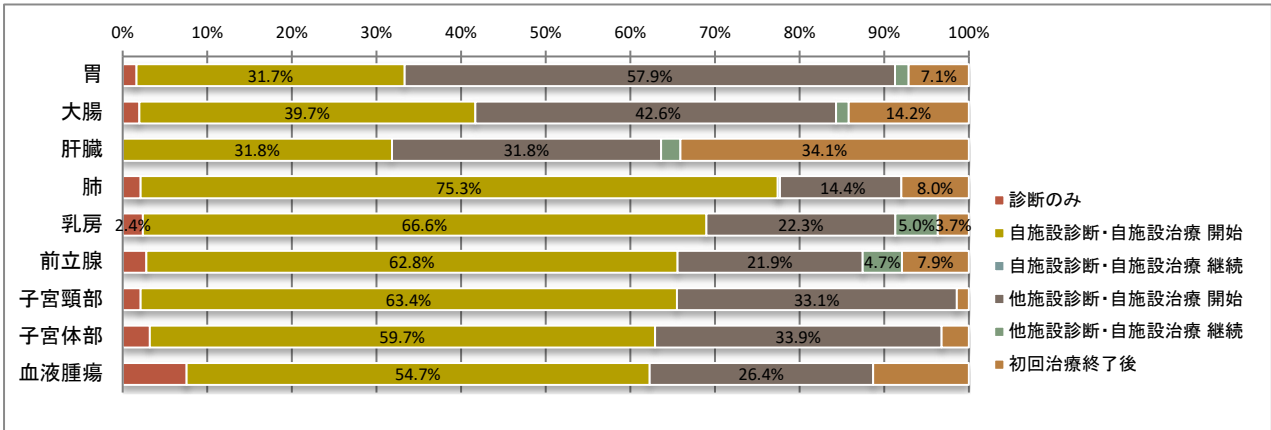


2-7. 症例区分 部位別

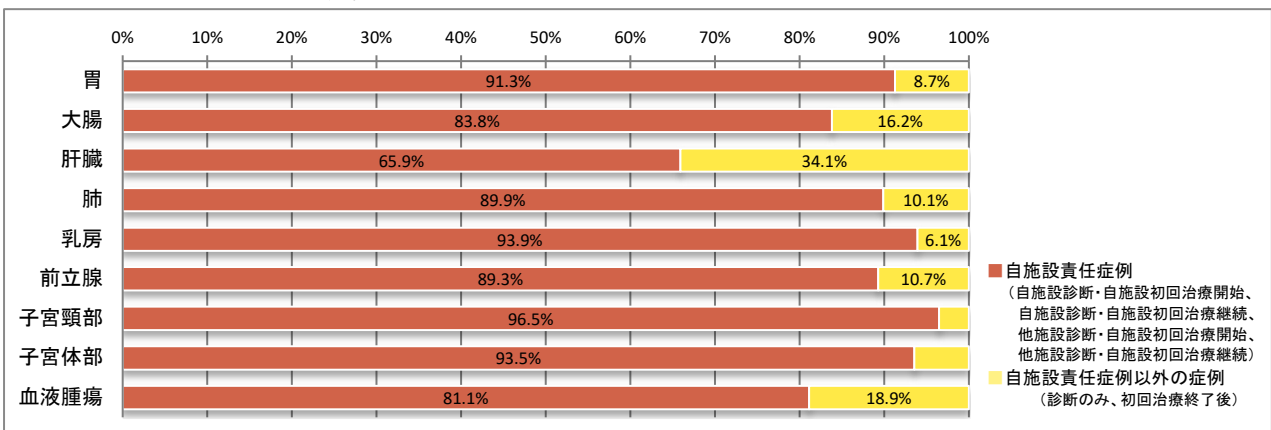
	胃		大腸		肝臓		肺		乳房	
	件数	(%)	件数	(%)	件数	(%)	件数	(%)	件数	(%)
診断のみ	(1~3)	--	(4~6)	--	0	--	(7~9)	--	11	(2.4%)
自施設診断・自施設治療 開始	58	(31.7%)	81	(39.7%)	14	(31.8%)	283	(75.3%)	307	(66.6%)
自施設診断・自施設治療 継続	0	--	0	--	0	--	(1~3)	--	0	--
他施設診断・自施設治療 開始	106	(57.9%)	87	(42.6%)	14	(31.8%)	54	(14.4%)	103	(22.3%)
他施設診断・自施設治療 継続	(1~3)	--	(1~3)	--	(1~3)	--	0	--	23	(5.0%)
初回治療終了後	13	(7.1%)	29	(14.2%)	15	(34.1%)	30	(8.0%)	17	(3.7%)

	前立腺		子宮頸部		子宮体部		血液腫瘍	
	件数	(%)	件数	(%)	件数	(%)	件数	(%)
診断のみ	(4~6)	--	(1~3)	--	(1~3)	--	(4~6)	--
自施設診断・自施設治療 開始	135	(62.8%)	90	(63.4%)	37	(59.7%)	29	(54.7%)
自施設診断・自施設治療 継続	0	--	0	--	0	--	0	--
他施設診断・自施設治療 開始	47	(21.9%)	47	(33.1%)	21	(33.9%)	14	(26.4%)
他施設診断・自施設治療 継続	10	(4.7%)	0	--	0	--	0	--
初回治療終了後	17	(7.9%)	(1~3)	--	(1~3)	--	(4~6)	--

2-8. 症例区分 部位別の割合



2-9. 症例区分 部位別の責任症例の割合



3. 診断時住所別

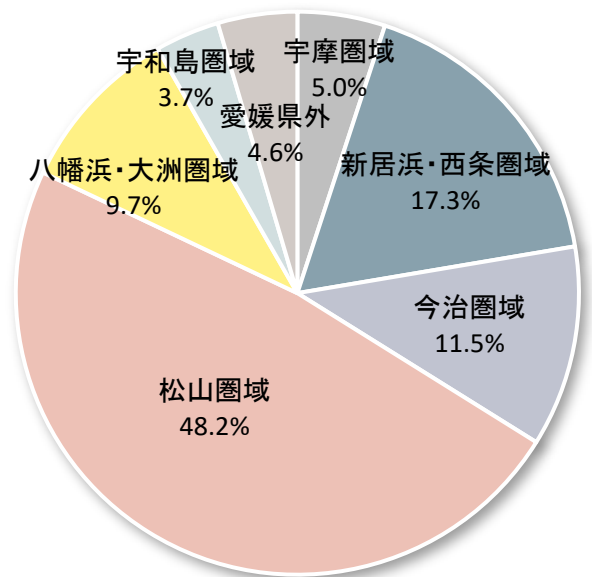
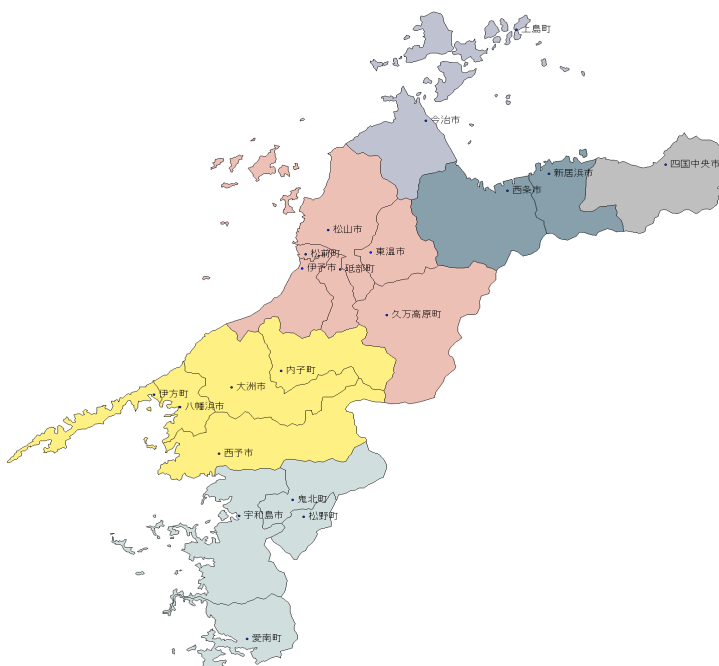
3-1. 診断時住所別

医療圏	登録数 件数	登録割合 (%)	市郡・県外	町村	登録数 件数
宇摩圏域	117	(5.0%)	四国中央市		117
新居浜・西条圏域	402	(17.3%)	新居浜市 西条市		198 204
今治圏域	268	(11.5%)	今治市 越智郡	(上島町)	268 0
松山圏域	1,119	(48.2%)	松山市 伊予市 東温市 上浮穴郡 伊予郡	(久万高原町) (松前町、砥部町)	839 56 114 11 99
八幡浜・大洲圏域	225	(9.7%)	八幡浜市 大洲市 西予市 喜多郡 西宇和郡	(内子町) (伊方町)	51 77 48 24 25
宇和島圏域	86	(3.7%)	宇和島市 北宇和郡 南宇和郡	(松野町、鬼北町) (愛南町)	61 11 14
愛媛県外	106	(4.6%)	高知県 香川県 徳島県 その他		53 29 14 10
合計(全登録数)					2,323

担当医療圏

全登録数に占める担当
医療圏の登録数割合
(担当医療圏登録数/全登録数)

95.4%

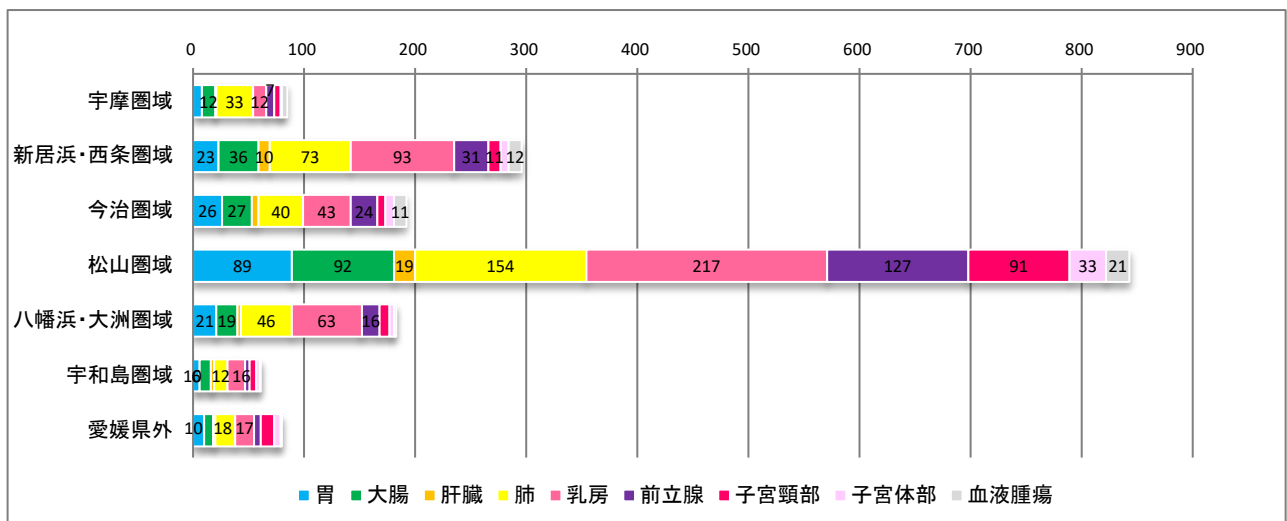


- 宇摩圏域
- 新居浜・西条圏域
- 今治圏域
- 松山圏域
- 八幡浜・大洲圏域
- 宇和島圏域
- 愛媛県外

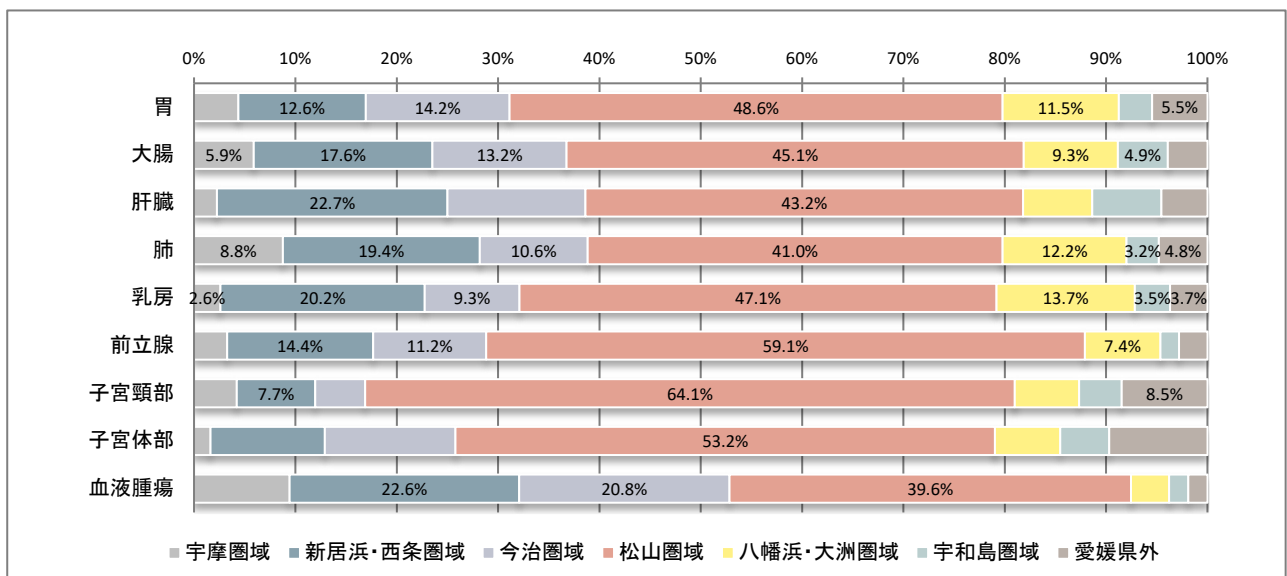
*説明ポイント④ 医療圏域別登録数は、松山圏域以外が半数以上を占めている。

3-2. 診断時住所(医療圏域)別部位別の登録数

医療圏	胃	大腸	肝臓	肺	乳房	前立腺	子宮頸部	子宮体部	血液腫瘍
	件数	件数	件数	件数	件数	件数	件数	件数	件数
宇摩圏域	(7~9)	12	(1~3)	33	12	(7~9)	(4~6)	(1~3)	(4~6)
新居浜・西条圏域	23	36	10	73	93	31	11	(7~9)	12
今治圏域	26	27	(4~6)	40	43	24	(7~9)	(7~9)	11
松山圏域	89	92	19	154	217	127	91	33	21
八幡浜・大洲圏域	21	19	(1~3)	46	63	16	(7~9)	(4~6)	(1~3)
宇和島圏域	(4~6)	10	(1~3)	12	16	(4~6)	(4~6)	(1~3)	(1~3)
愛媛県外	10	(7~9)	(1~3)	18	17	(4~6)	12	(4~6)	(1~3)
部位別合計	183	204	44	376	461	215	142	62	53
部位別の登録数に占める 担当医療圏の登録割合 (担当医療圏登録数/登録数)	94.5%	96.1%	95.5%	95.2%	96.3%	97.2%	91.5%	90.3%	98.1%



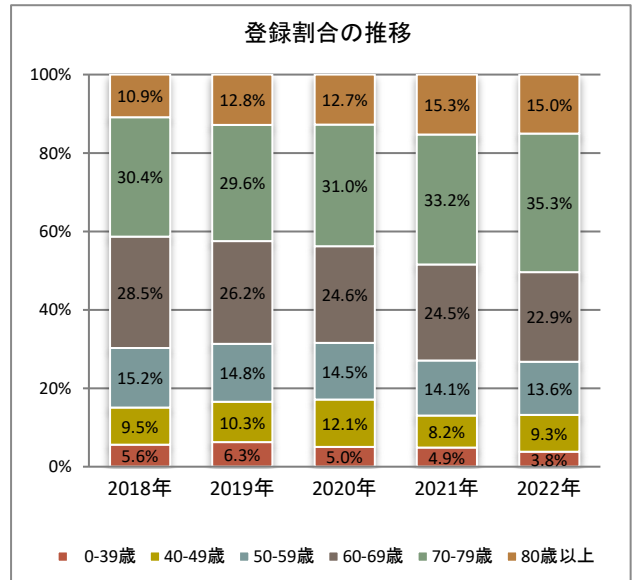
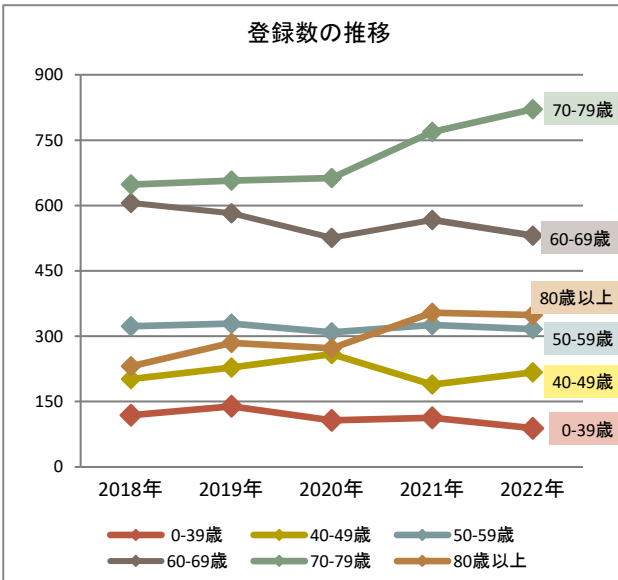
3-3. 部位別医療圏域別の登録割合



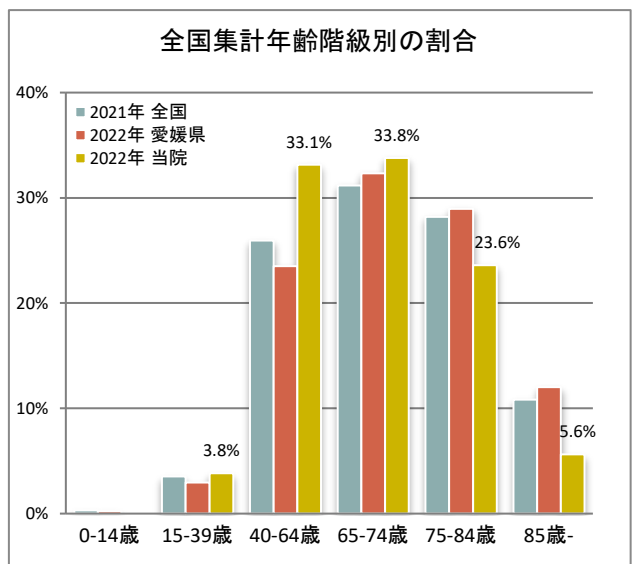
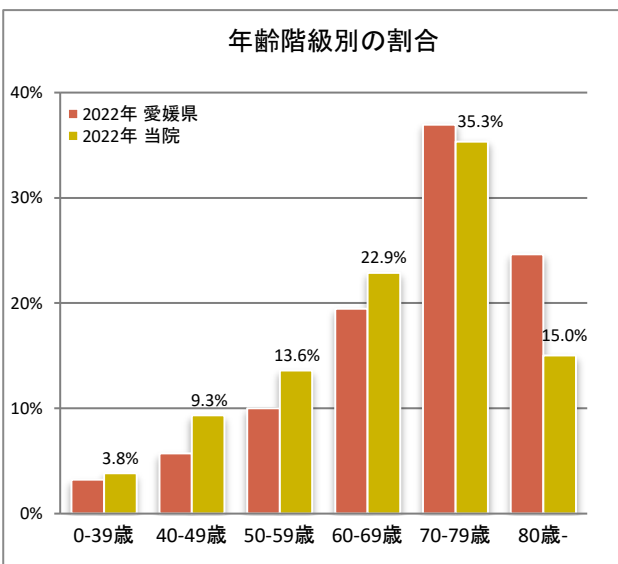
4. 年齢の割合

4-1. 年齢階級別登録数の年次推移

診断年	2018年		2019年		2020年		2021年		2022年	
	件数	(%)	件数	(%)	件数	(%)	件数	(%)	件数	(%)
0-39歳	119	(5.6%)	139	(6.3%)	107	(5.0%)	113	(4.9%)	89	(3.8%)
40-49歳	202	(9.5%)	228	(10.3%)	259	(12.1%)	189	(8.2%)	217	(9.3%)
50-59歳	323	(15.2%)	329	(14.8%)	309	(14.5%)	326	(14.1%)	316	(13.6%)
60-69歳	606	(28.5%)	582	(26.2%)	526	(24.6%)	567	(24.5%)	531	(22.9%)
70-79歳	648	(30.4%)	657	(29.6%)	663	(31.0%)	769	(33.2%)	821	(35.3%)
80歳-	231	(10.9%)	285	(12.8%)	272	(12.7%)	354	(15.3%)	349	(15.0%)



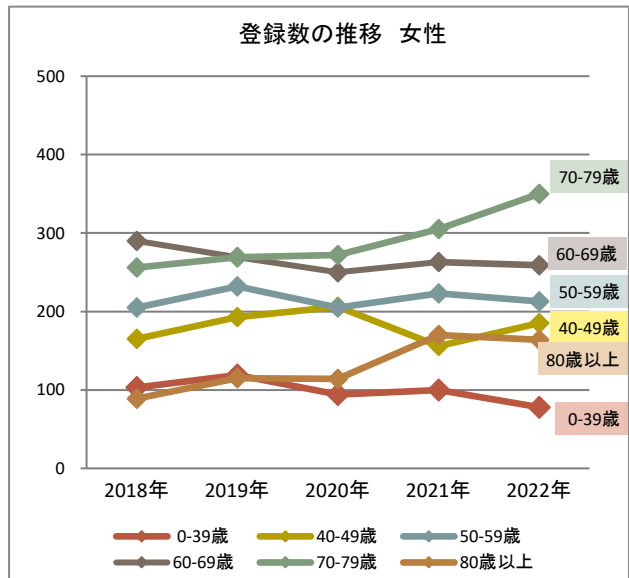
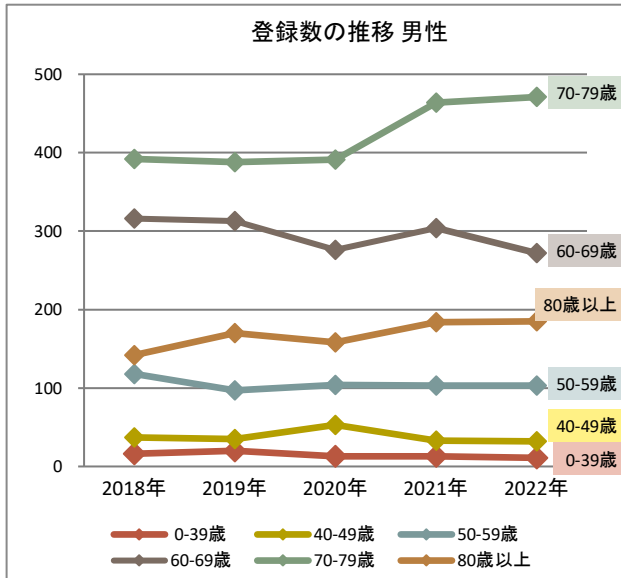
4-2. 年齢階級別登録割合 愛媛県全体・全国値との比較



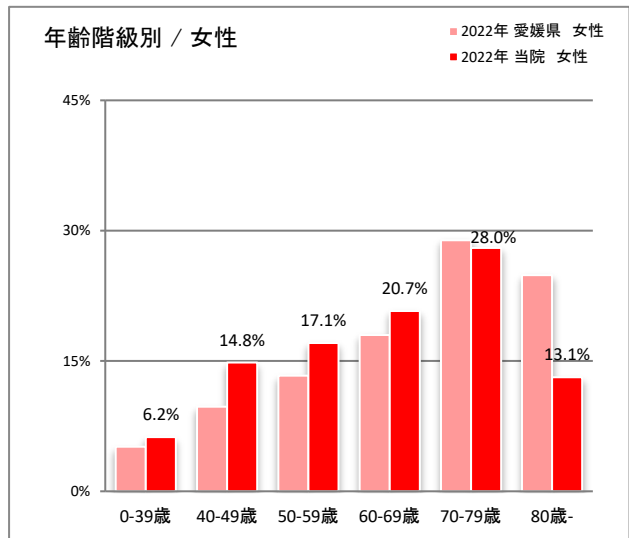
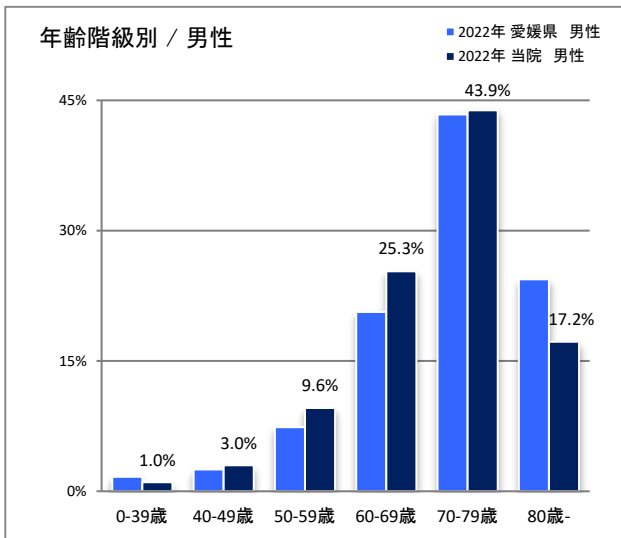
*説明ポイント⑤ 年齢階級別登録数の年次推移では、2021年から70-79歳が大きく増加している。

4-3. 男女別 年齢階級別登録数の年次推移

診断年	2018年		2019年		2020年		2021年		2022年	
	件数	(%)	件数	(%)	件数	(%)	件数	(%)	件数	(%)
男性										
0-39歳	16	(1.6%)	20	(2.0%)	13	(1.3%)	13	(1.2%)	11	(1.0%)
40-49歳	37	(3.6%)	35	(3.4%)	53	(5.3%)	33	(3.0%)	32	(3.0%)
50-59歳	118	(11.6%)	97	(9.5%)	104	(10.5%)	103	(9.4%)	103	(9.6%)
60-69歳	316	(31.0%)	313	(30.6%)	276	(27.7%)	304	(27.6%)	272	(25.3%)
70-79歳	392	(38.4%)	388	(37.9%)	391	(39.3%)	464	(42.1%)	471	(43.9%)
80歳-	142	(13.9%)	170	(16.6%)	158	(15.9%)	184	(16.7%)	185	(17.2%)
女性										
0-39歳	103	(9.3%)	119	(9.9%)	94	(8.2%)	100	(8.2%)	78	(6.2%)
40-49歳	165	(14.9%)	193	(16.1%)	206	(18.1%)	156	(12.8%)	185	(14.8%)
50-59歳	205	(18.5%)	232	(19.4%)	205	(18.0%)	223	(18.3%)	213	(17.1%)
60-69歳	290	(26.2%)	269	(22.5%)	250	(21.9%)	263	(21.6%)	259	(20.7%)
70-79歳	256	(23.1%)	269	(22.5%)	272	(23.8%)	305	(25.1%)	350	(28.0%)
80歳-	89	(8.0%)	115	(9.6%)	114	(10.0%)	170	(14.0%)	164	(13.1%)



4-4. 男女別 年齢階級別登録割合 愛媛県全体との比較

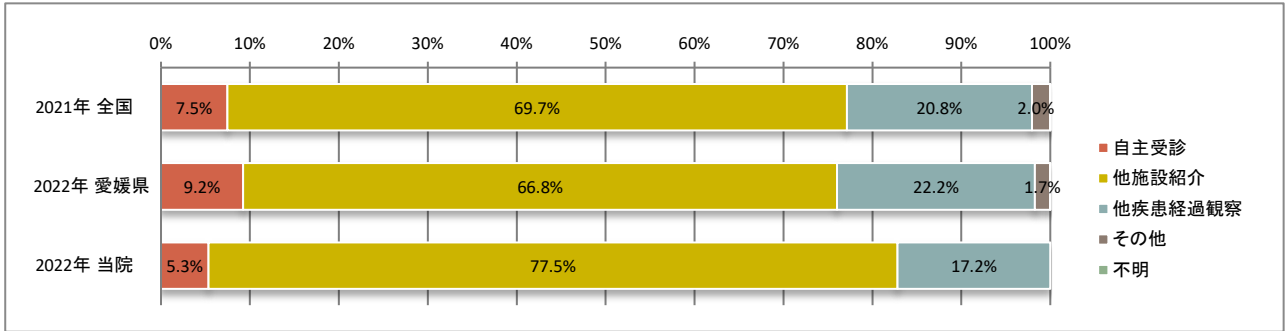


5. 来院経路

5-1. 来院経路

診断年	2020年		2021年		2022年	
	件数	(%)	件数	(%)	件数	(%)
自主受診	99	(4.6%)	105	(4.5%)	124	(5.3%)
他施設紹介	1,706	(79.9%)	1,789	(77.2%)	1,800	(77.5%)
他疾患経過観察	331	(15.5%)	424	(18.3%)	399	(17.2%)
その他	0	--	0	--	0	--
不明	0	--	0	--	0	--

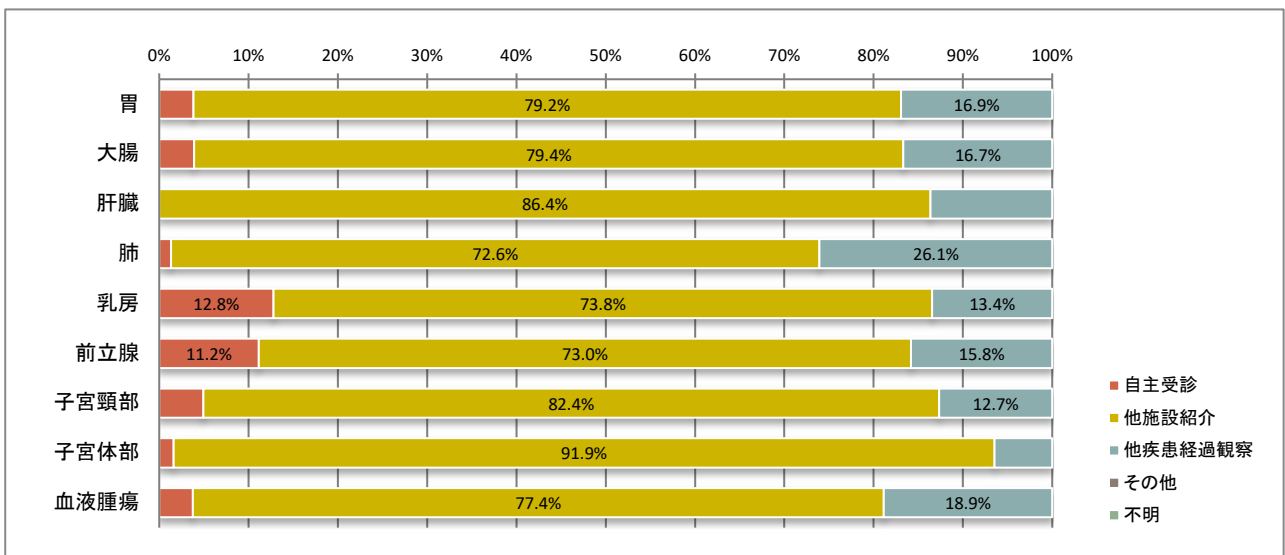
5-2. 来院経路 愛媛県全体・全国値との比較



5-3. 来院経路 部位別

	胃		大腸		肝臓		肺		乳房	
	件数	(%)	件数	(%)	件数	(%)	件数	(%)	件数	(%)
自主受診	(7~9)	--	(7~9)	--	0	--	(4~6)	--	59	(12.8%)
他施設紹介	145	(79.2%)	162	(79.4%)	38	(86.4%)	273	(72.6%)	340	(73.8%)
他疾患経過観察	31	(16.9%)	34	(16.7%)	(4~6)	--	98	(26.1%)	62	(13.4%)
その他	0	--	0	--	0	--	0	--	0	--
不明	0	--	0	--	0	--	0	--	0	--

	前立腺		子宮頸部		子宮体部		血液腫瘍	
	件数	(%)	件数	(%)	件数	(%)	件数	(%)
自主受診	24	(11.2%)	(7~9)	--	(1~3)	--	(1~3)	--
他施設紹介	157	(73.0%)	117	(82.4%)	57	(91.9%)	41	(77.4%)
他疾患経過観察	34	(15.8%)	18	(12.7%)	(4~6)	--	10	(18.9%)
その他	0	--	0	--	0	--	0	--
不明	0	--	0	--	0	--	0	--

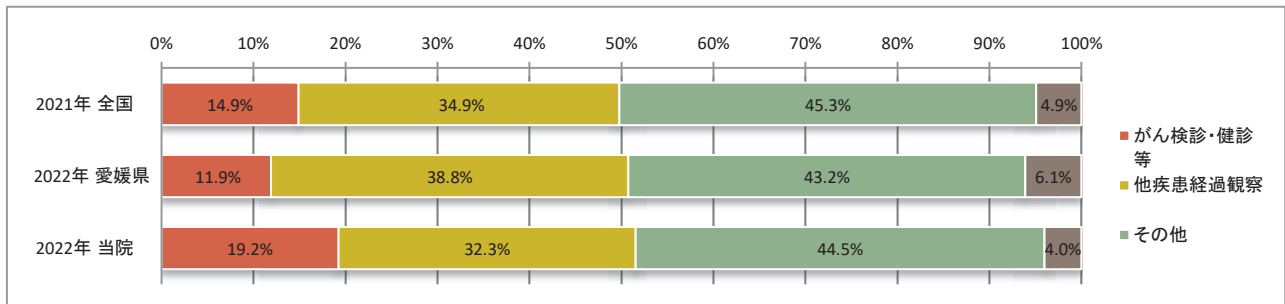


6. 発見経緯

6-1. 発見経緯

診断年	2020年		2021年		2022年	
	件数	(%)	件数	(%)	件数	(%)
がん検診・健康診断・人間ドック	338	(15.8%)	404	(17.4%)	447	(19.2%)
他疾患経過観察	684	(32.0%)	777	(33.5%)	750	(32.3%)
剖検発見	0	--	0	--	0	--
その他	1,031	(48.3%)	1,062	(45.8%)	1,033	(44.5%)
不明	83	(3.9%)	75	(3.2%)	93	(4.0%)

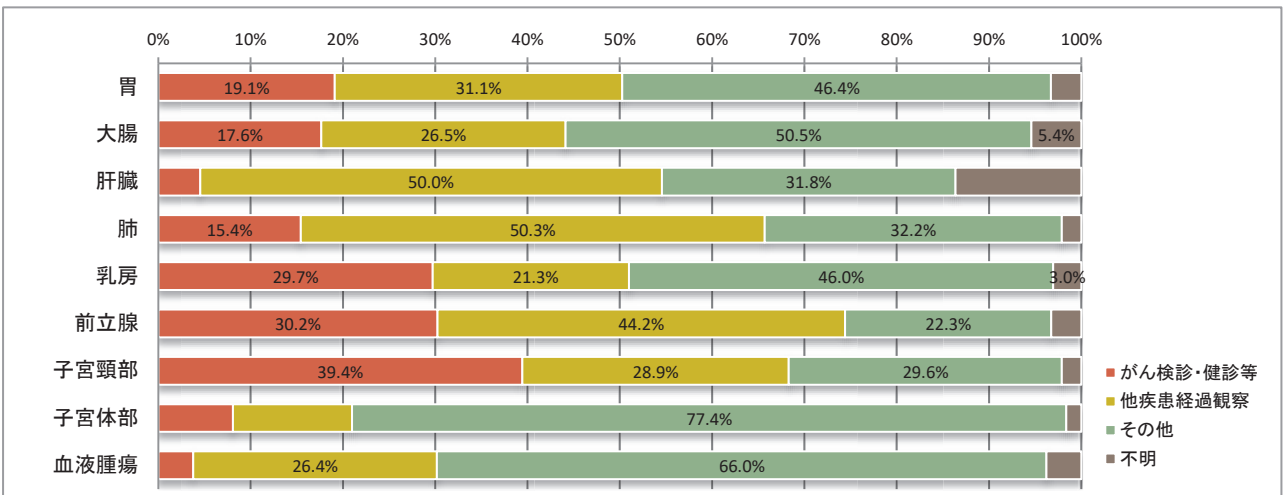
6-2. 発見経緯 愛媛県全体・全国値との比較



6-3. 発見経緯 部位別

	胃		大腸		肝臓		肺		乳房	
	件数	(%)	件数	(%)	件数	(%)	件数	(%)	件数	(%)
がん検診・健康診断・人間ドック	35	(19.1%)	36	(17.6%)	(1~3)	--	58	(15.4%)	137	(29.7%)
他疾患経過観察	57	(31.1%)	54	(26.5%)	22	(50.0%)	189	(50.3%)	98	(21.3%)
剖検発見	0	--	0	--	0	--	0	--	0	--
その他	85	(46.4%)	103	(50.5%)	14	(31.8%)	121	(32.2%)	212	(46.0%)
不明	(4~6)	--	11	(5.4%)	(4~6)	--	(7~9)	--	14	(3.0%)

	前立腺		子宮頸部		子宮体部		血液腫瘍	
	件数	(%)	件数	(%)	件数	(%)	件数	(%)
がん検診・健康診断・人間ドック	65	(30.2%)	56	(39.4%)	(4~6)	--	(1~3)	--
他疾患経過観察	95	(44.2%)	41	(28.9%)	(7~9)	--	14	(26.4%)
剖検発見	0	--	0	--	0	--	0	--
その他	48	(22.3%)	42	(29.6%)	48	(77.4%)	35	(66.0%)
不明	(7~9)	--	(1~3)	--	(1~3)	--	(1~3)	--

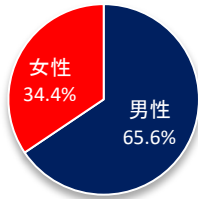


*説明ポイント⑥ 発見経緯は「がん検診・健診等」の割合が愛媛県に比べて高い。

7-1. 部位別：胃

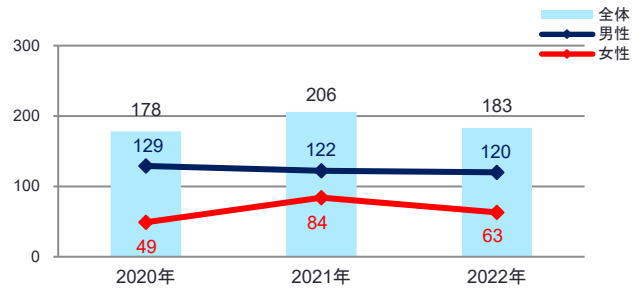
1. 登録数と男女割合

登録数	
全体	183
男性	120
女性	63

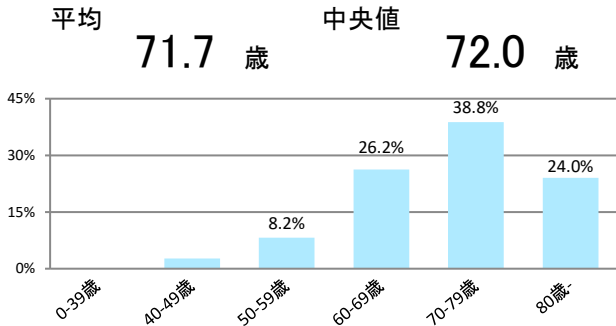


当院全登録数に占める胃がんの割合 **7.9%**

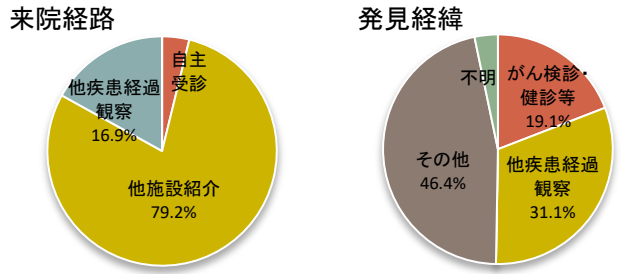
2. 登録数の年次推移



3. 年齢

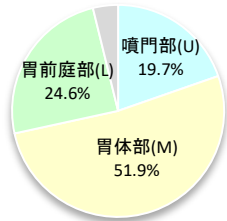


4. 来院経路と発見経緯

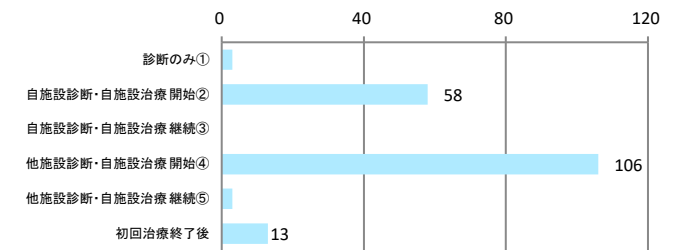


5. 詳細部位別登録数

局在コード	部位名	登録数	局在コード	部位名	登録数
C16.0	噴門	12	C16.5	胃小彎	0
C16.1	胃底部	24	C16.6	胃大彎	0
C16.2	胃体部	95	C16.8	胃の境界部	0
C16.3	胃前庭部	45	C16.9	胃NOS	(7~9)
C16.4	幽門	0			



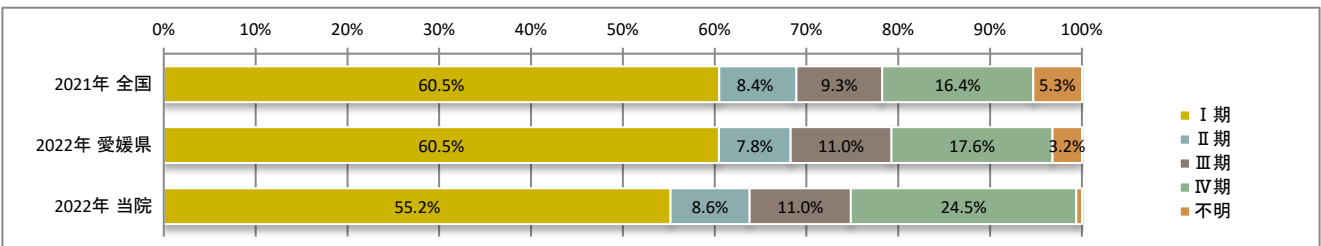
6. 症例区分



区分	登録数	割合
自施設責任症例 (自施設で初回治療が実施された症例) ②+③+④+⑤	167	91.3%
自施設でがんが診断された症例 ①+②+③	61	33.3%

7. UICC TNM 治療前ステージ別登録 <症例区分20~31(自施設責任症例)、病期分類対象のみ>

2022年	0期	I期	II期	III期	IV期	不明	合計
件数		90	14	18	40	(1~3)	163
割合		55.2%	8.6%	11.0%	24.5%	--	

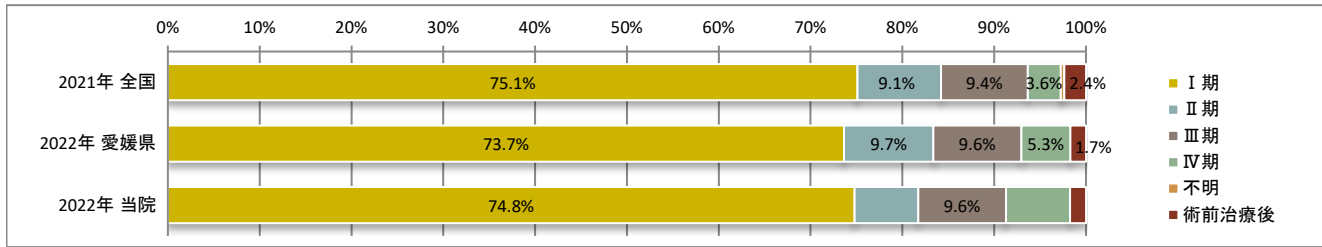


8. UICC TNM 術後病理学的ステージ別登録 <症例区分20~31(自施設責任症例)、病期分類対象のみ>

2022年	0期	I期	II期	III期	IV期	不明	術前治療後
件数		86	(7~9)	11	(7~9)	0	(1~3)
割合		74.8%	--	9.6%	--	--	--

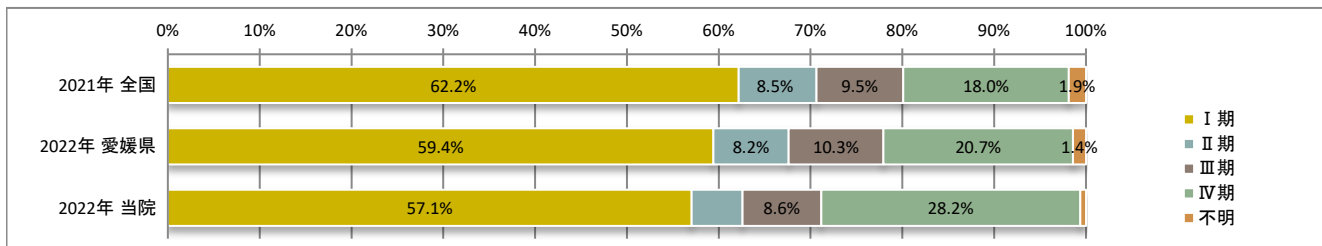
2022年	(他)0期	(他)I期	(他)II期	(他)III期	(他)IV期	(他)不明	合計
件数	0	(1~3)	0	0	0	0	115
割合	--	--	--	--	--	--	

四国がんセンター



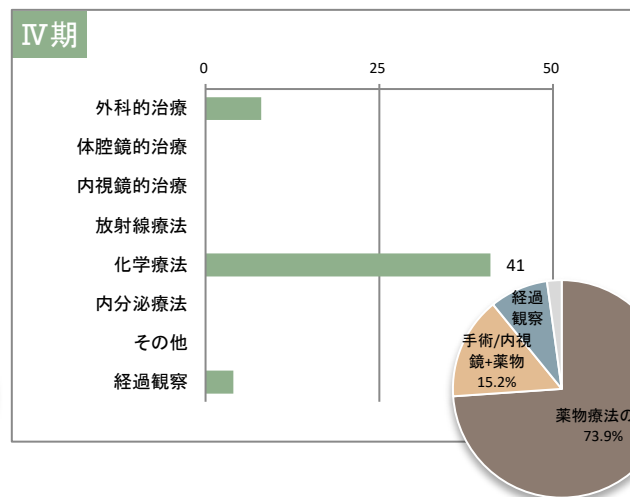
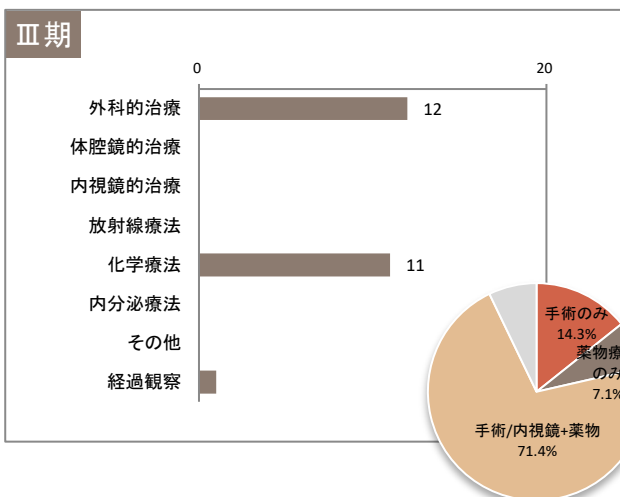
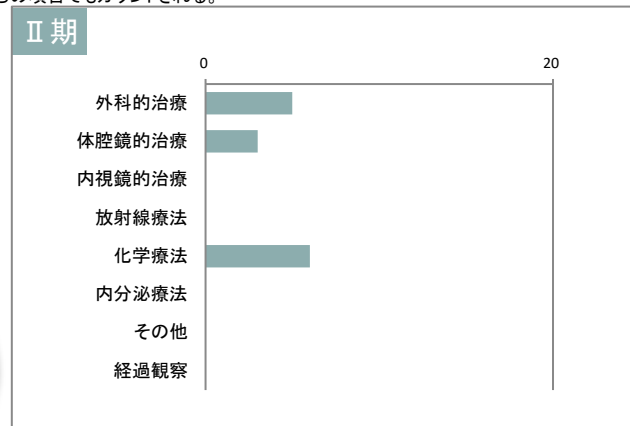
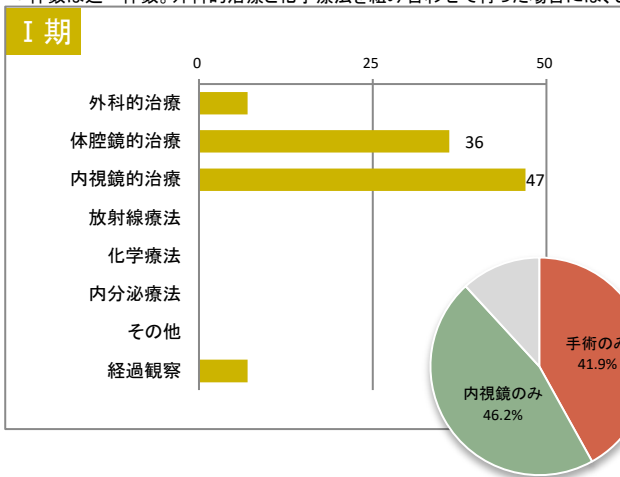
9. UICC TNM 総合ステージ別登録 <症例区分20~31(自施設責任症例)、病期分類対象のみ>

2022年	0期	I期	II期	III期	IV期	不明	合計
件数		93	(7~9)	14	46	(1~3)	163
割合		57.1%	--	8.6%	28.2%	--	



10. UICC TNM 総合ステージ別 治療の件数 <症例区分20~31(自施設責任症例)、病期分類対象のみ、自施設で実施した初回治療のみ>

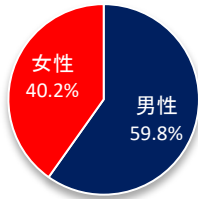
* 件数は延べ件数。外科的治療と化学療法を組み合わせを行った場合には、どちらの項目でもカウントされる。



7-2. 部位別：大腸

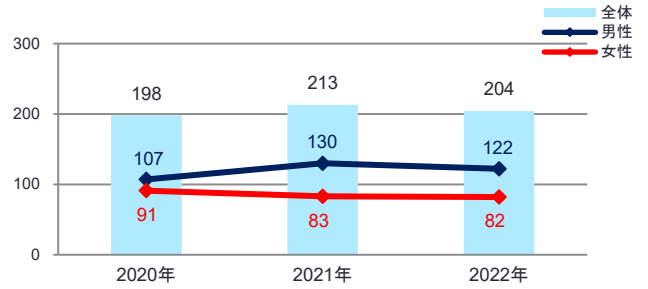
1. 登録数と男女割合

登録数	
全体	204
男性	122
女性	82

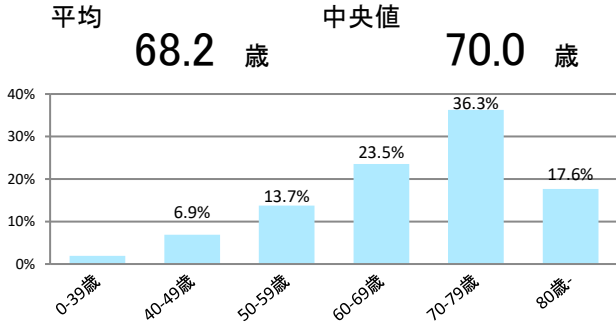


当院全登録数に占める大腸がんの割合 **8.8%**

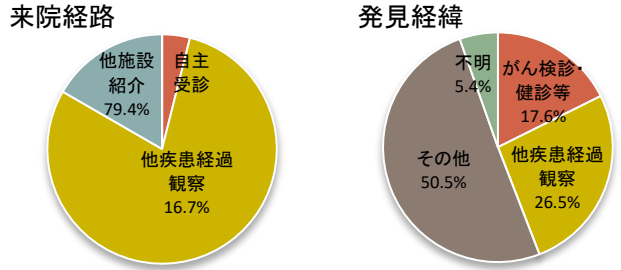
2. 登録数の年次推移



3. 年齢



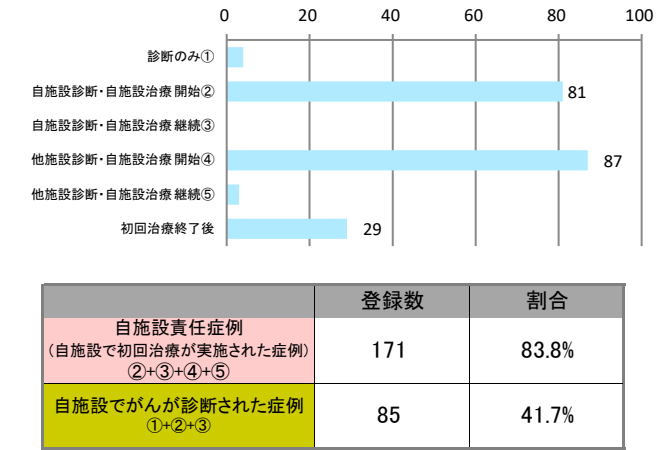
4. 来院経路と発見経緯



5. 詳細部位別登録数

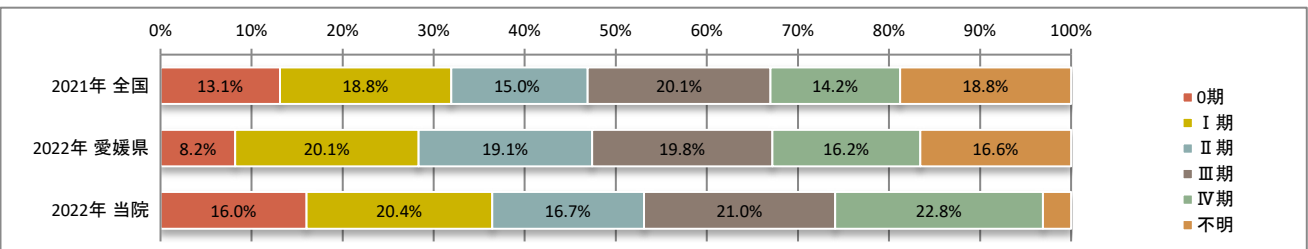
局在コード	部位名	登録数	局在コード	部位名	登録数
C18.0	盲腸	17	C19.9	直腸S状結腸	32
C18.1	虫垂	(7~9)	C20.9	直腸	60
C18.2	上行結腸	24			
C18.3	右結腸曲	(1~3)			
C18.4	横行結腸	18			
C18.5	左結腸曲	(1~3)			
C18.6	下行結腸	(7~9)			
C18.7	S状結腸	33			
C18.8	境界部病巣	0			
C18.9	詳細部位不明	0			

6. 症例区分



7. UICC TNM 治療前ステージ別登録 <症例区分20~31(自施設責任症例)、病期分類対象のみ>

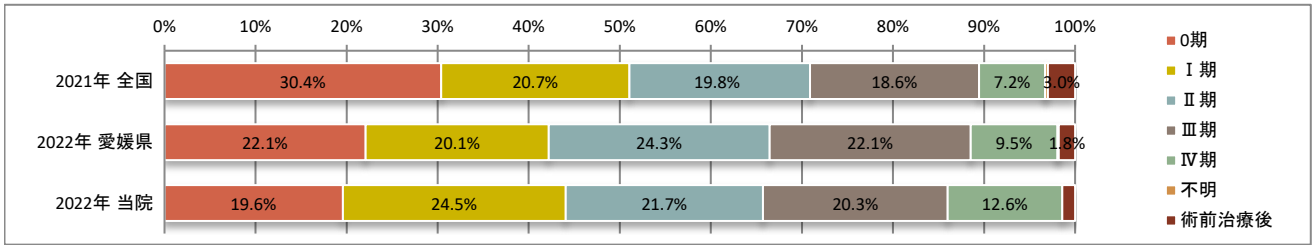
2022年	0期	I期	II期	III期	IV期	不明	合計
件数	26	33	27	34	37	(4~6)	162
割合	16.0%	20.4%	16.7%	21.0%	22.8%	--	



8. UICC TNM 術後病理学的ステージ別登録 <症例区分20~31(自施設責任症例)、病期分類対象のみ>

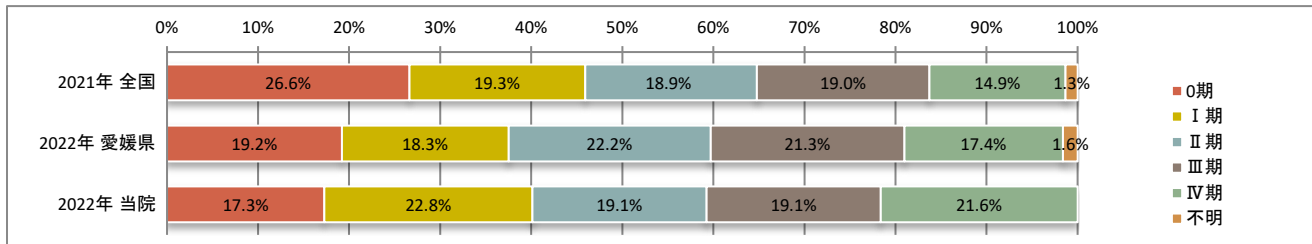
2022年	0期	I期	II期	III期	IV期	不明	術前治療後
件数	28	35	31	29	18	0	(1~3)
割合	19.6%	24.5%	21.7%	20.3%	12.6%	--	--
件数	(他)0期	(他)I期	(他)II期	(他)III期	(他)IV期	(他)不明	合計
割合	0	0	0	0	0	0	143

四国がんセンター



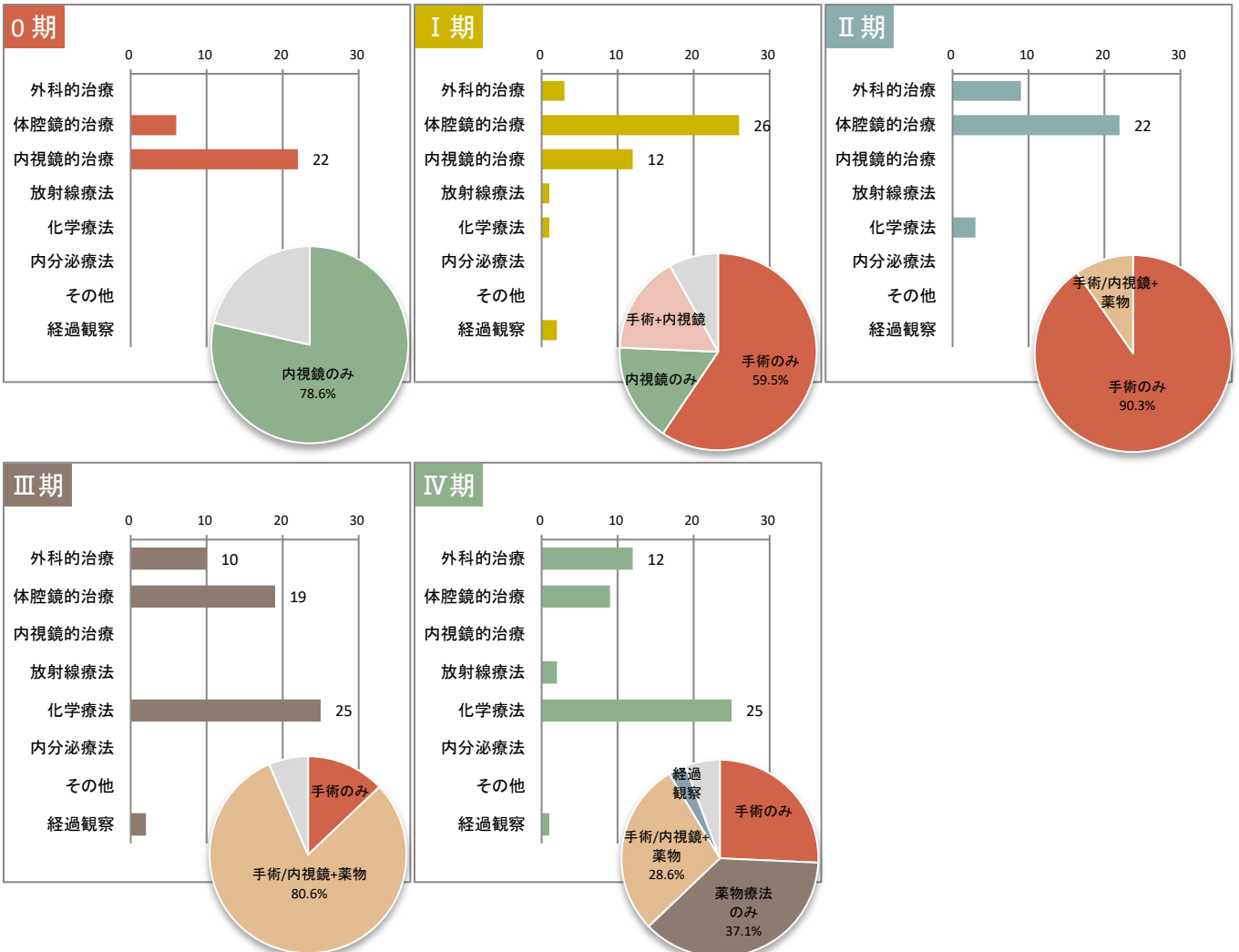
9. UICC TNM 総合ステージ別登録 <症例区分20~31(自施設責任症例)、病期分類対象のみ>

2022年	0期	I期	II期	III期	IV期	不明	合計
件数	28	37	31	31	35	0	162
割合	17.3%	22.8%	19.1%	19.1%	21.6%	--	



10. UICC TNM 総合ステージ別 治療の件数 <症例区分20~31(自施設責任症例)、病期分類対象のみ、自施設で実施した初回治療のみ>

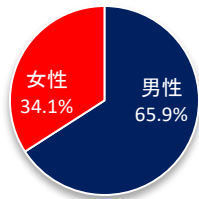
* 件数は延べ件数。外科的治療と化学療法を組み合わせで行った場合には、どちらの項目でもカウントされる。



7-3. 部位別：肝臓

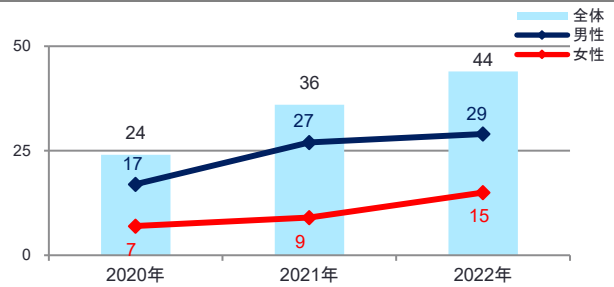
1. 登録数と男女割合

登録数	
全体	44
男性	29
女性	15

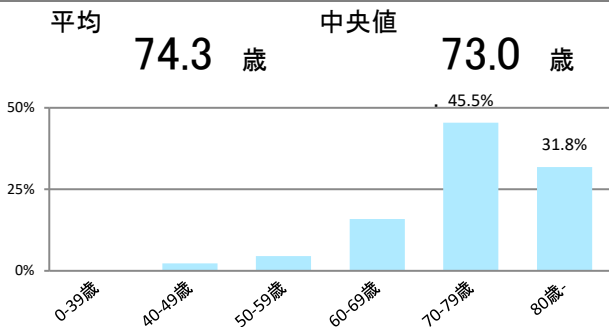


当院全登録数に占める肝臓がんの割合 **1.9%**

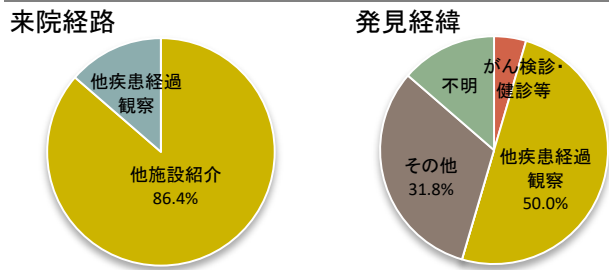
2. 登録数の年次推移



3. 年齢



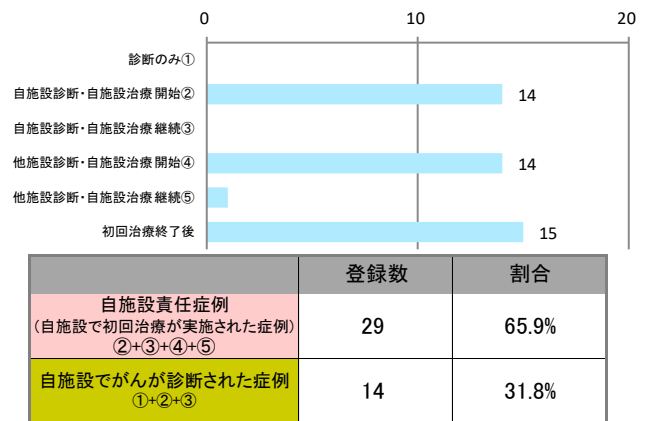
4. 来院経路と発見経緯



5. 詳細部位別登録数

局在コード	部位名	登録数
C220	肝	28
C221	肝内胆管	16

6. 症例区分

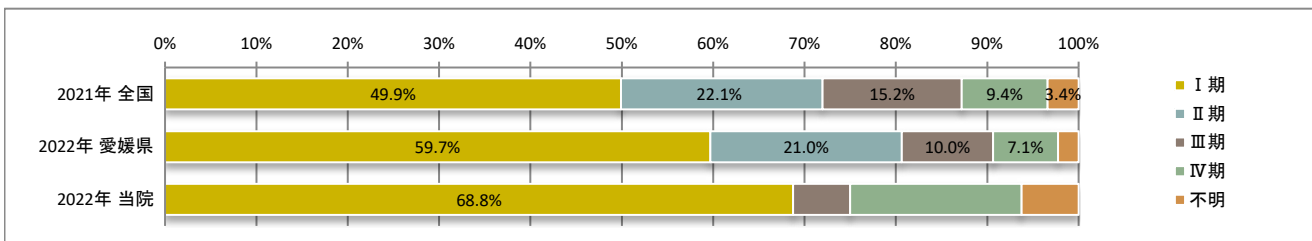


7. 病期分類対象の癌腫別登録数

局在コード	組織分類	登録数
C220	肝細胞癌	25
C221	肝内胆管癌	16

8. UICC TNM 肝細胞癌の治療前ステージ別登録 <症例区分20~31(自施設責任症例)、病期分類対象のみ>

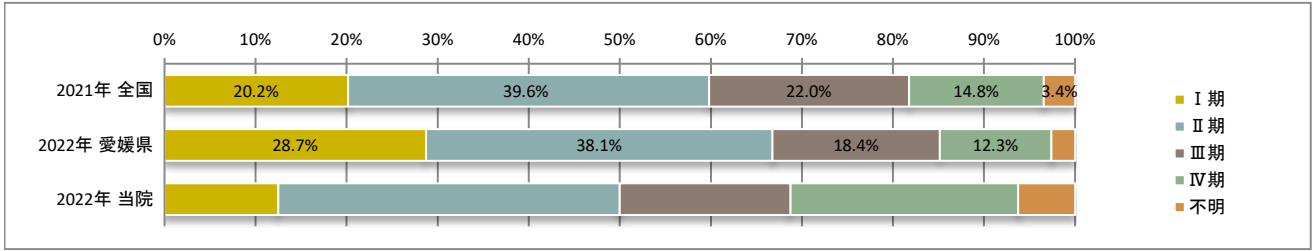
2022年	0期	I期	II期	III期	IV期	不明	合計
件数		11	0	(1~3)	(1~3)	(1~3)	16
割合		68.8%	--	--	--	--	



9. 取扱い規約 肝細胞癌の治療前ステージ別登録 <症例区分20~31(初回治療実施症例)、病期分類対象のみ>

2022年	I期	II期	III期	IV期	不明	合計
件数	(1~3)	(4~6)	(1~3)	(4~6)	(1~3)	16
割合	--	--	--	--	--	

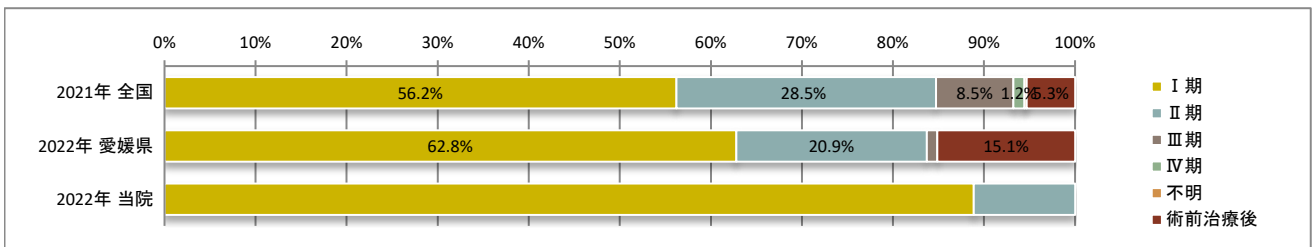
四国がんセンター



10. UICC TNM 肝細胞癌の術後病理学的ステージ別登録 <症例区分20~31(自施設責任症例)、病期分類対象のみ>

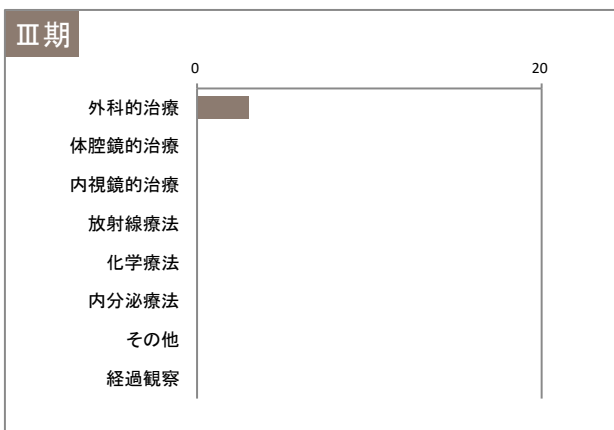
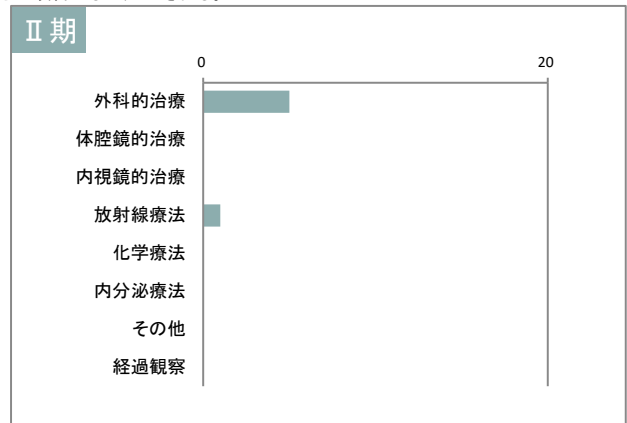
2022年	I期	II期	III期	IV期	不明	術前治療後
件数	(7~9)	(1~3)	0	0	0	0
割合	--	--	--	--	--	--

	(他)I期	(他)II期	(他)III期	(他)IV期	(他)不明	合計
件数	0	0	0	0	0	(7~9)
割合	--	--	--	--	--	



11. 取扱い規約 肝細胞癌の治療前ステージ別 治療の件数 <症例区分20~31(自施設責任症例)、病期分類対象のみ、自施設で実施した初回治療のみ>

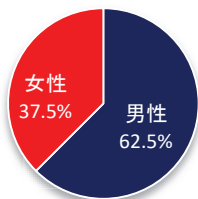
* 件数は延べ件数。外科的治療と化学療法を組み合わせを行った場合には、どちらの項目でもカウントされる。



7-4. 部位別:肺

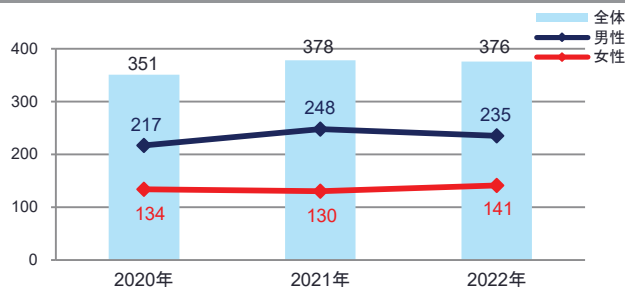
1. 登録数と男女割合

登録数	
全体	376
男性	235
女性	141

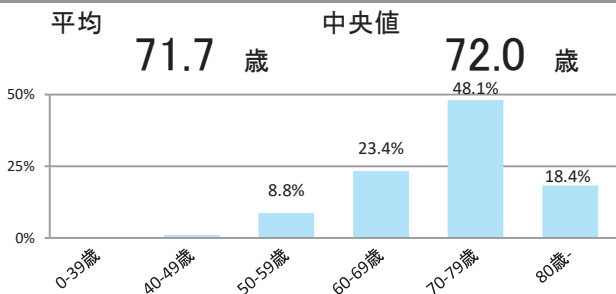


当院全登録数に占める肺がんの割合 **16.2%**

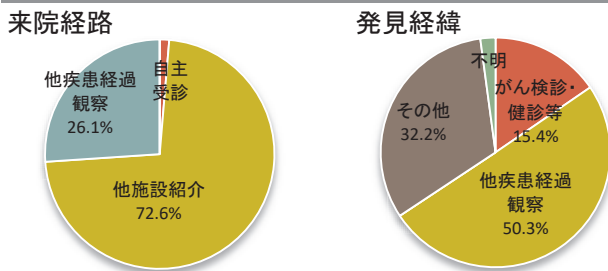
2. 登録数の年次推移



3. 年齢

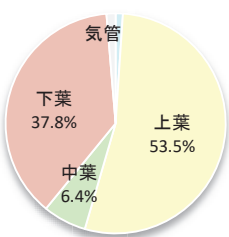


4. 来院経路と発見経緯

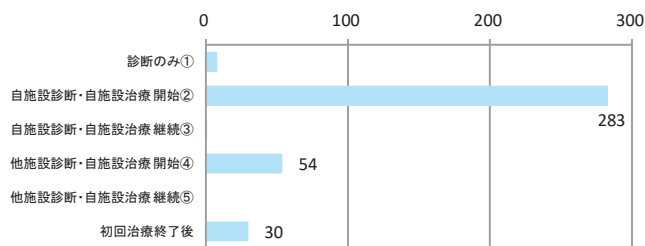


5. 詳細部位別登録数

局在コード	部位名	登録数
C339	気管	(1~3)
C340	主気管支	(1~3)
C341	上葉・肺尖部	201
C342	中葉	24
C343	下葉	142
C348	肺の境界部病巣	0
C349	肺NOS	(4~6)



6. 症例区分



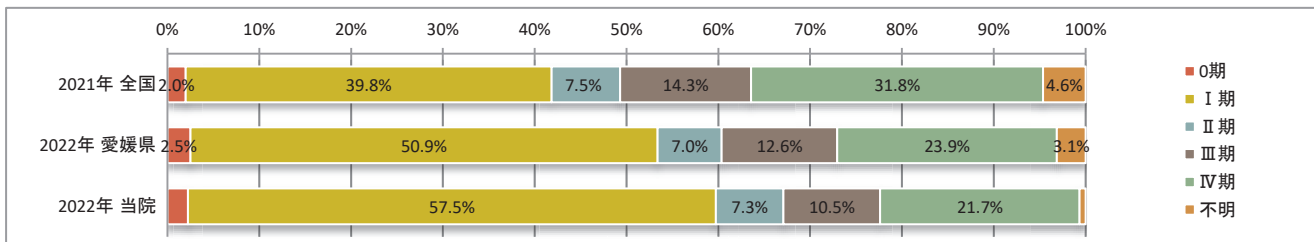
区分	登録数	割合
自施設責任症例 (自施設で初回治療が実施された症例) ②+③+④+⑤	338	89.9%
自施設でがんが診断された症例 ①+②+③	292	77.7%

7. 病期分類対象の癌腫別登録数

組織分類	登録数
非小細胞癌	348
小細胞癌	26

8. ICCC TNM 非小細胞癌の治療前ステージ別登録 <症例区分20~31(自施設責任症例)、病期分類対象のみ>

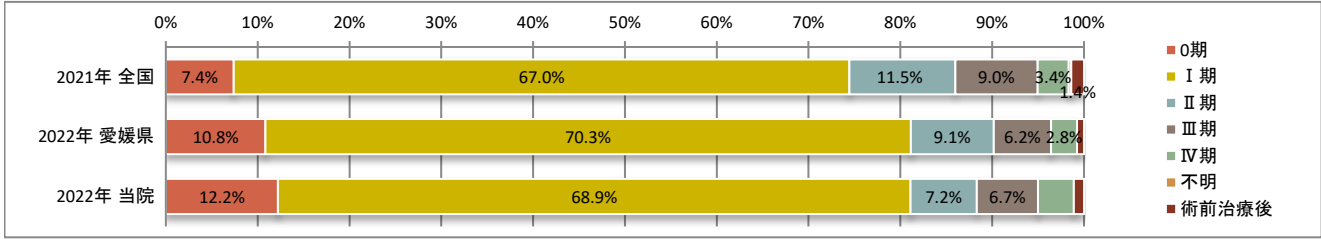
2022年	0期	I期	II期	III期	IV期	不明	合計
件数	(7~9)	180	23	33	68	(1~3)	313
割合	--	57.5%	7.3%	10.5%	21.7%	--	



9. ICCC TNM 非小細胞癌の術後病理学的ステージ別登録 <症例区分20~31(自施設責任症例)、病期分類対象のみ>

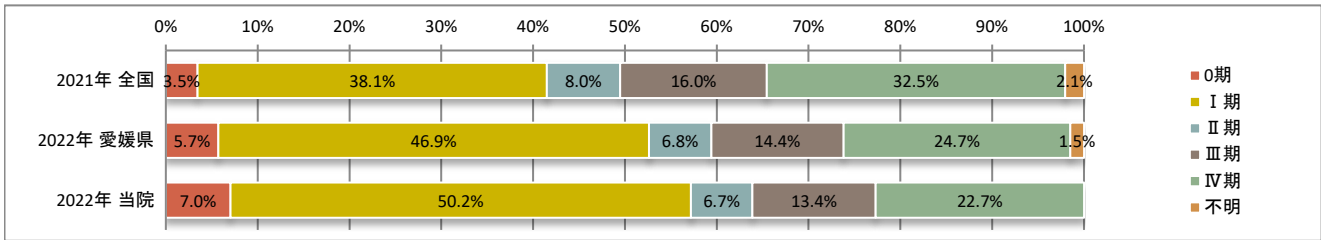
2022年	0期	I期	II期	III期	IV期	不明	術前治療後
件数	22	124	12	12	(7~9)	0	(1~3)
割合	12.2%	68.9%	6.7%	6.7%	--	--	--

	(他)0期	(他)I期	(他)II期	(他)III期	(他)IV期	(他)不明	合計
件数	0	0	(1~3)	0	0	0	180
割合	--	--	--	--	--	--	



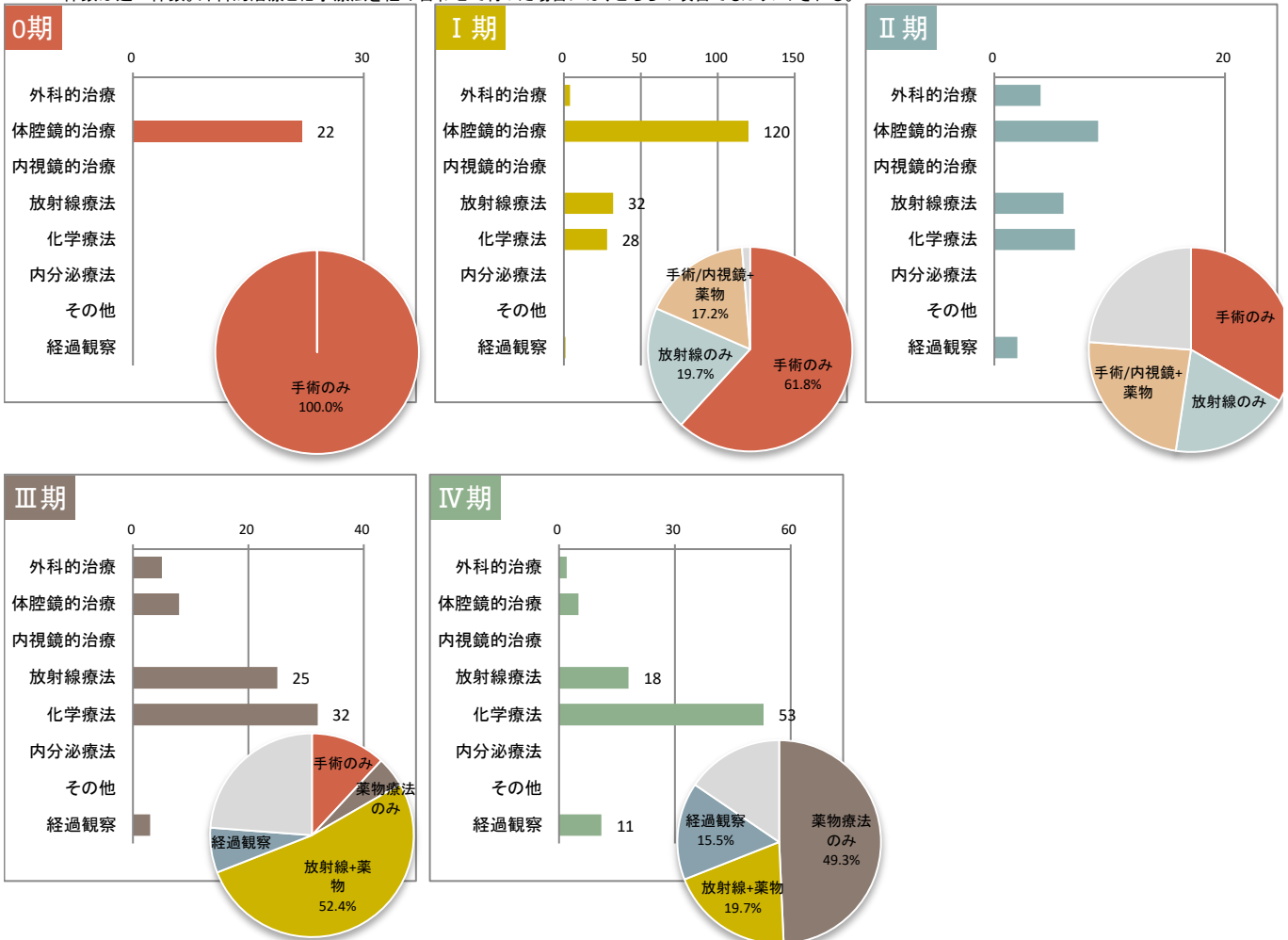
10. UICC TNM 非小細胞癌の総合ステージ別登録 <症例区分20~31(自施設責任症例)、病期分類対象のみ>

2022年	0期	I期	II期	III期	IV期	不明	合計
件数	22	157	21	42	71	0	313
割合	7.0%	50.2%	6.7%	13.4%	22.7%	—	



11. UICC TNM 非小細胞癌の総合ステージ別 治療の件数 <症例区分20~31(自施設責任症例)、病期分類対象のみ、自施設で実施した初回治療のみ>

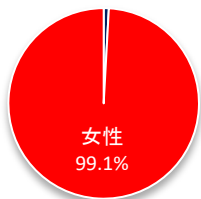
* 件数は延べ件数。外科的治療と化学療法を組み合わせを行った場合には、どちらの項目でもカウントされる。



7-5. 部位別：乳房

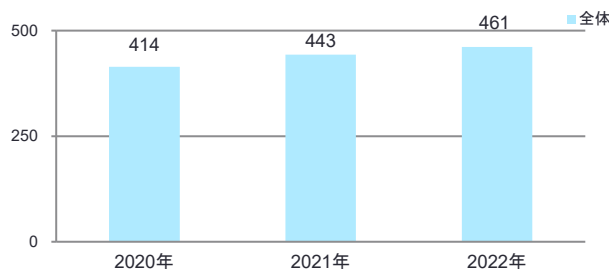
1. 登録数と男女割合

登録数	
全体	461
男性	(4~6)
女性	457



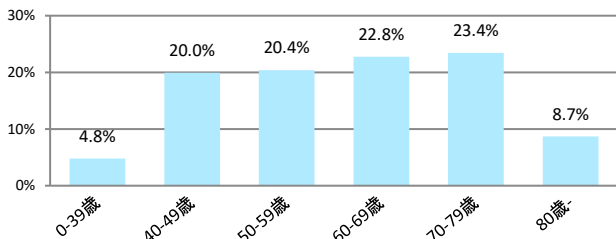
当院全登録数に占める乳がんの割合 **19.8%**

2. 登録数の年次推移



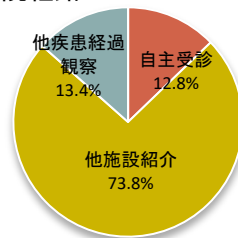
3. 年齢

平均 **61.1** 歳 中央値 **61.0** 歳

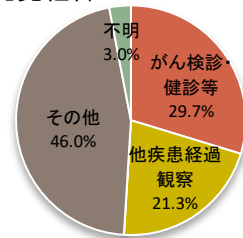


4. 来院経路と発見経緯

来院経路

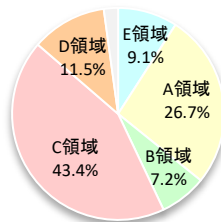


発見経緯

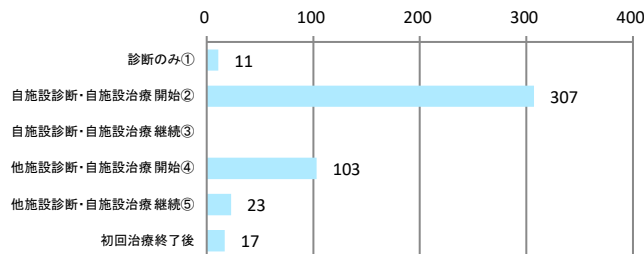


5. 詳細部位別登録数

局在コード	部位名	登録数
C500	E'(乳頭部)領域	0
C501	E(乳輪部)領域	42
C502	A領域	123
C503	B領域	33
C504	C領域	200
C505	D領域	53
C506	C'領域	(1~3)
C508	境界部病巣	0
C509	乳房NOS	(7~9)



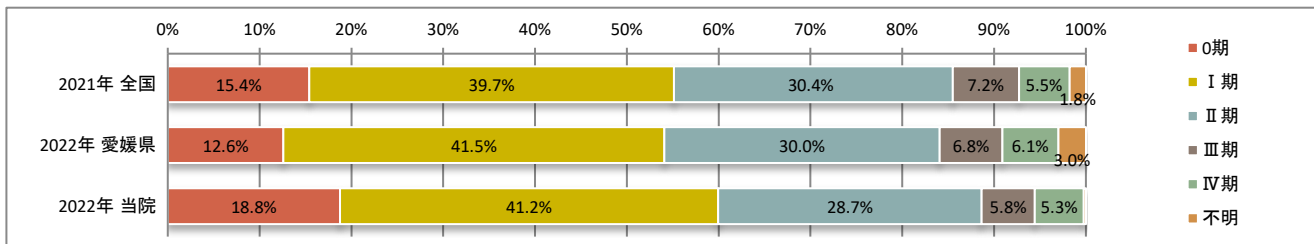
6. 症例区分



	登録数	割合
自施設責任症例 (自施設で初回治療が実施された症例) ②+③+④+⑤	433	93.9%
自施設でがんが診断された症例 ①+②+③	318	69.0%

7. UICC TNM 治療前ステージ別登録 <症例区分20~31(自施設責任症例)、病期分類対象のみ>

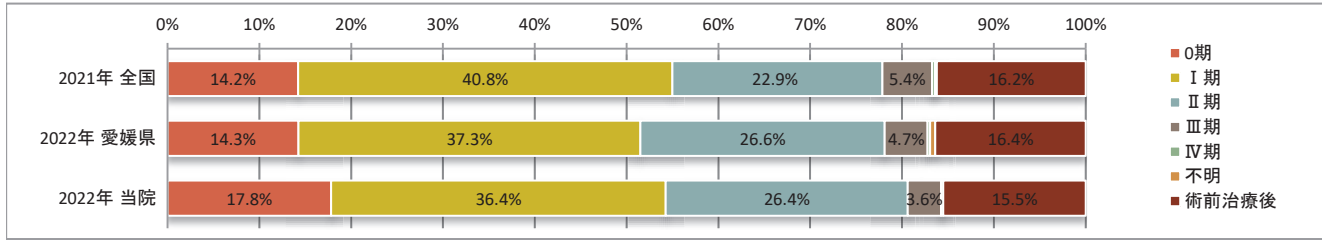
2022年	0期	I期	II期	III期	IV期	不明	合計
件数	81	178	124	25	23	(1~3)	432
割合	18.8%	41.2%	28.7%	5.8%	5.3%	--	



8. UICC TNM 術後病理学的ステージ別登録 <症例区分20~31(自施設責任症例)、病期分類対象のみ>

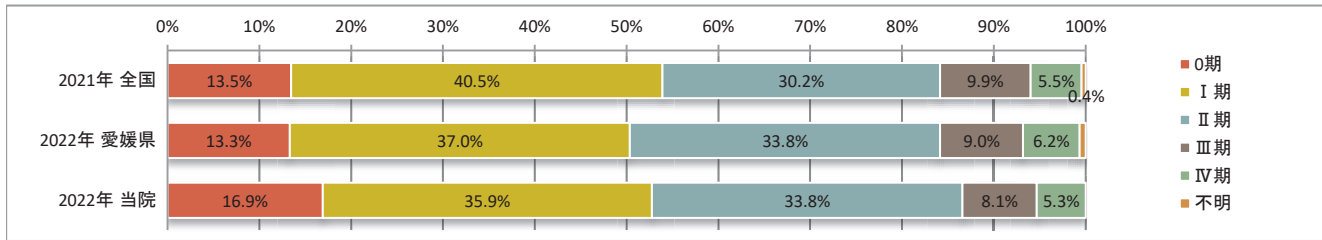
2022年	0期	I期	II期	III期	IV期	不明	術前治療後
件数	66	135	100	13	0	0	60
割合	17.1%	34.9%	25.8%	3.4%	--	--	15.5%

件数	(他)0期	(他)I期	(他)II期	(他)III期	(他)IV期	(他)不明	合計
件数	(1~3)	(4~6)	(1~3)	(1~3)	(1~3)	0	387
割合	--	--	--	--	--	--	



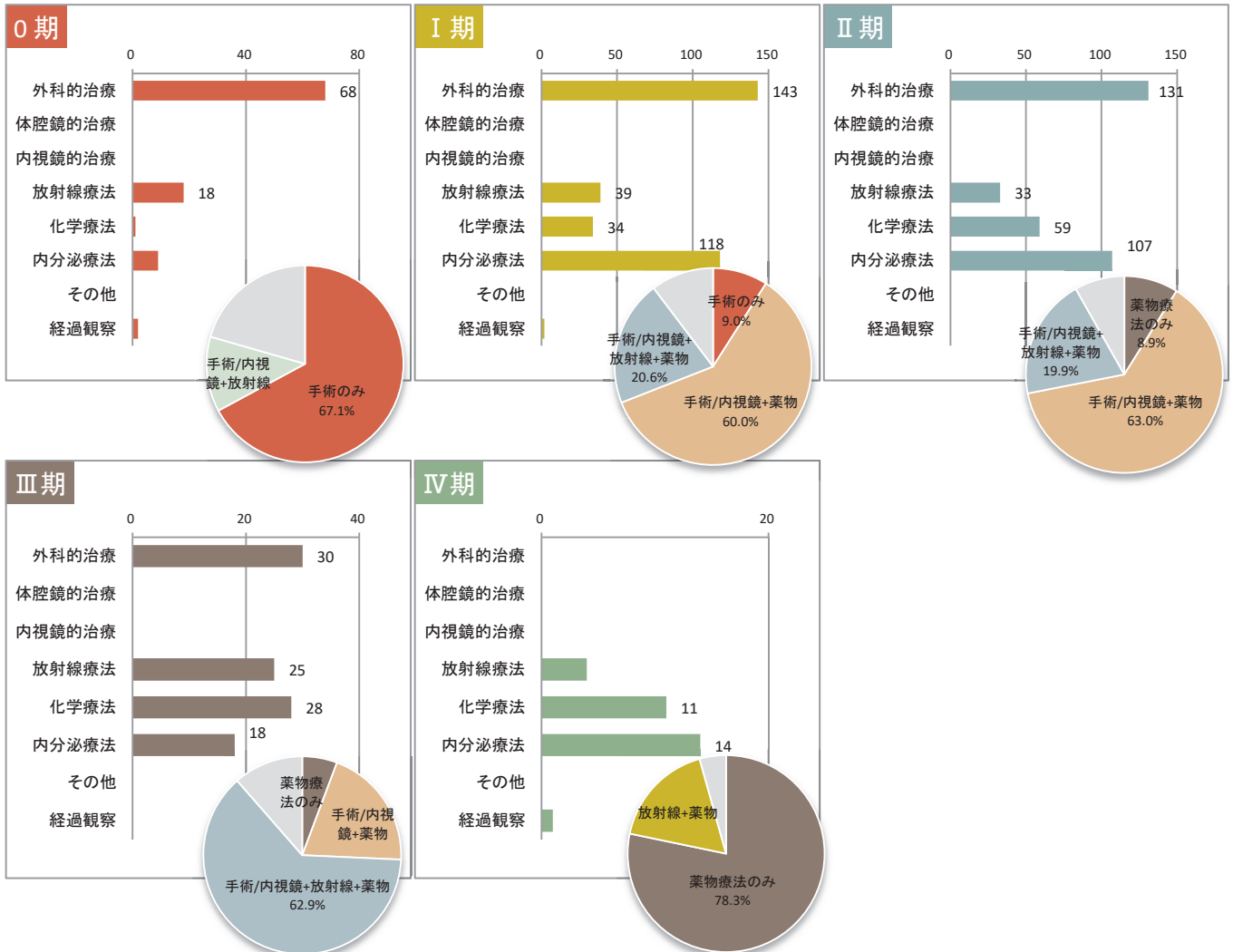
9. UICC TNM 総合ステージ別登録 <症例区分20~31(自施設責任症例)、病期分類対象のみ>

2022年	0期	I期	II期	III期	IV期	不明	合計
件数	73	155	146	35	23	0	432
割合	16.9%	35.9%	33.8%	8.1%	5.3%	--	



10. UICC TNM 総合ステージ別 治療の件数 <症例区分20~31(自施設責任症例)、病期分類対象のみ、自施設で実施した初回治療のみ>

* 件数は延べ件数。外科的治療と化学療法を組み合わせで行った場合には、どちらの項目でもカウントされる。



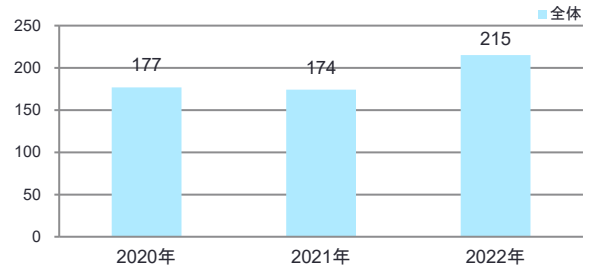
7-6. 部位別：前立腺

1. 登録数と男女割合

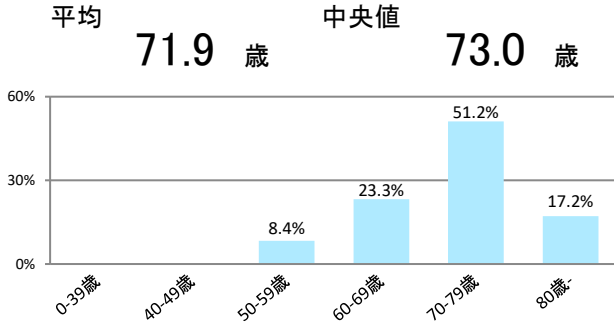
登録数	
全体	215

当院全登録数に占める前立腺がんの割合 **9.3%**

2. 登録数の年次推移

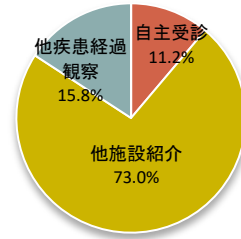


3. 年齢

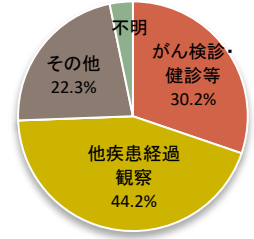


4. 来院経路と発見経緯

来院経路



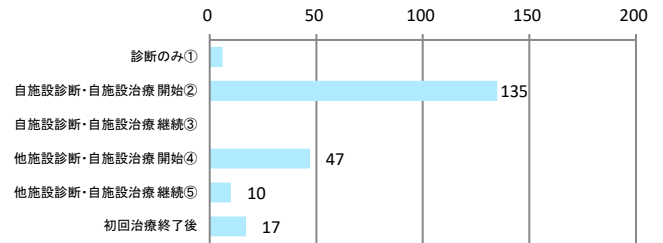
発見経緯



5. 詳細部位別登録数

局在コード	部位名	登録数
C61.9	前立腺	215

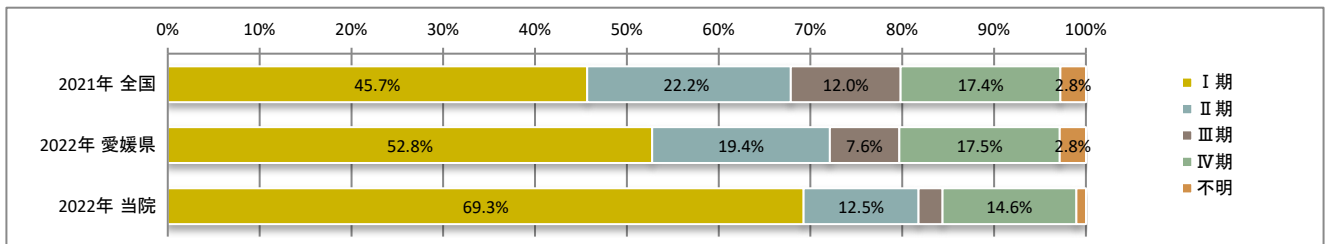
6. 症例区分



症例区分	登録数	割合
自施設責任症例 (自施設で初回治療が実施された症例) ②+③+④+⑤	192	89.3%
自施設でがんが診断された症例 ①+②+③	141	65.6%

7. UICC TNM 治療前ステージ別登録 <症例区分20~31(自施設責任症例)、病期分類対象のみ>

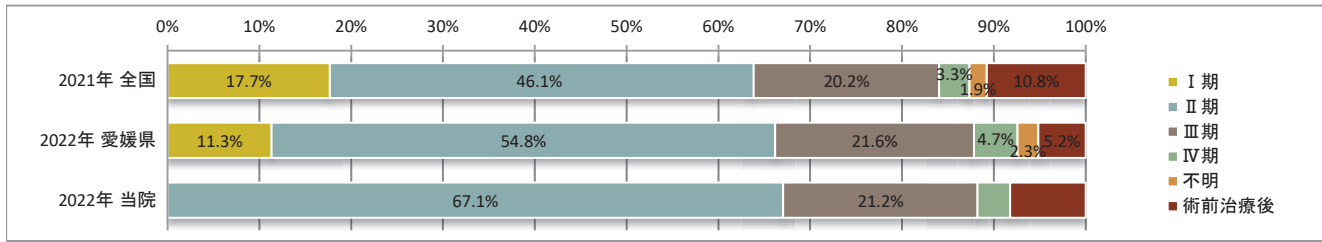
2022年	I 期	II 期	III 期	IV 期	不明	合計
件数	133	24	(4~6)	28	(1~3)	192
割合	69.3%	12.5%	--	14.6%	--	



8. UICC TNM 術後病理学的ステージ別登録 <症例区分20~31(自施設責任症例)、病期分類対象のみ>

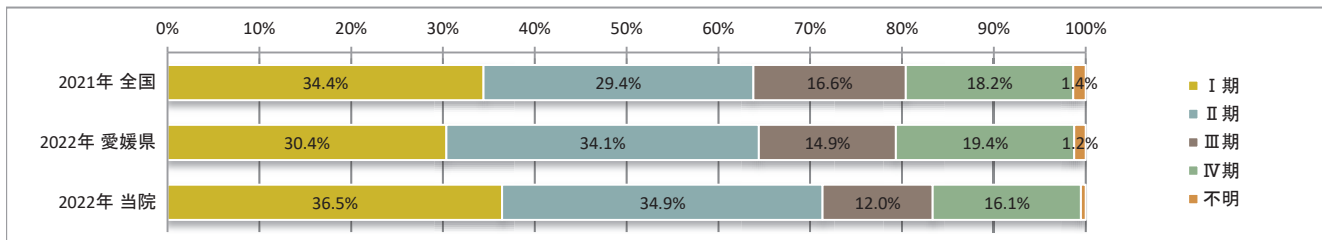
2022年	I 期	II 期	III 期	IV 期	不明	術前治療後
件数	0	57	18	(1~3)	0	(7~9)
割合	--	67.1%	21.2%	--	--	--

2022年	(他)I 期	(他)II 期	(他)III 期	(他)IV 期	(他)不明	合計
件数	0	0	0	0	0	85
割合	--	--	--	--	--	



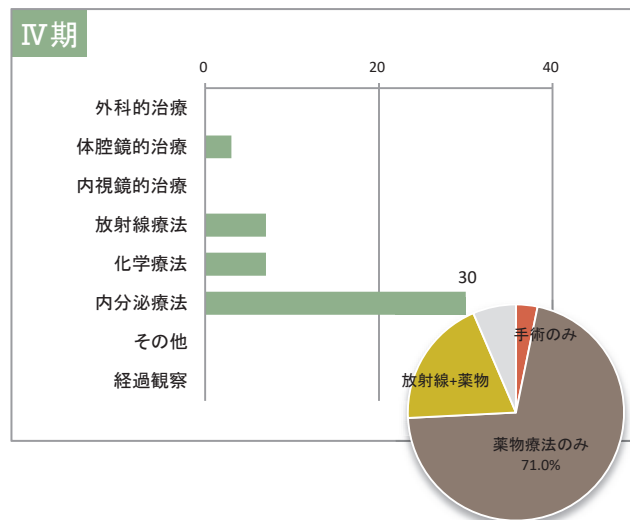
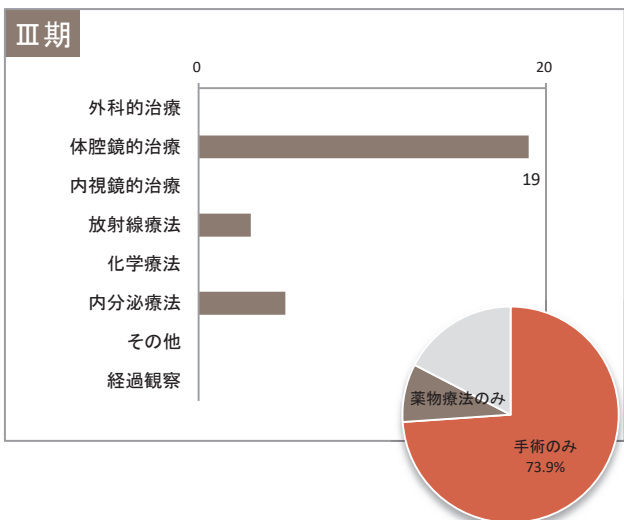
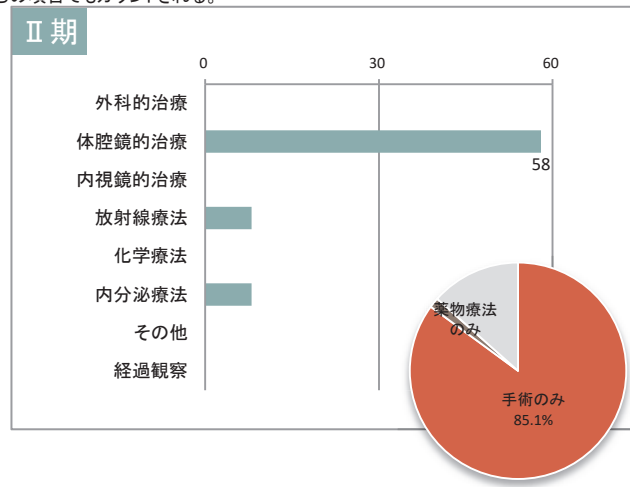
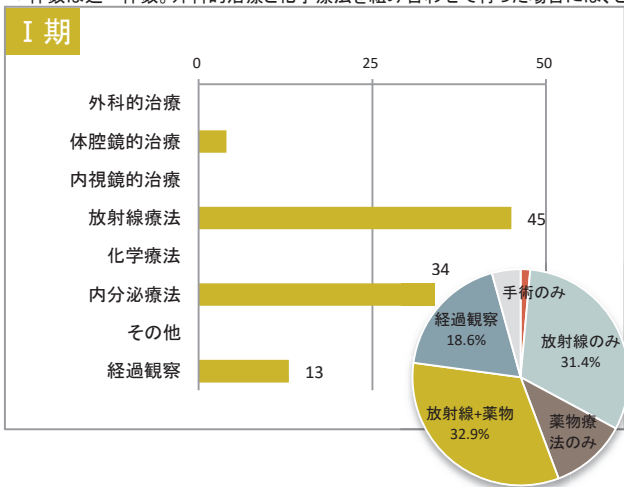
9. UICC TNM 総合ステージ別登録 <症例区分20~31(自施設責任症例)、病期分類対象のみ>

2022年	I期	II期	III期	IV期	不明	合計
件数	70	67	23	31	(1~3)	192
割合	36.5%	34.9%	12.0%	16.1%	--	



10. UICC TNM 総合ステージ別 治療の件数 <症例区分20~31(自施設責任症例)、病期分類対象のみ、自施設で実施した初回治療のみ>

* 件数は延べ件数。外科的治療と化学療法を組み合わせを行った場合には、どちらの項目でもカウントされる。



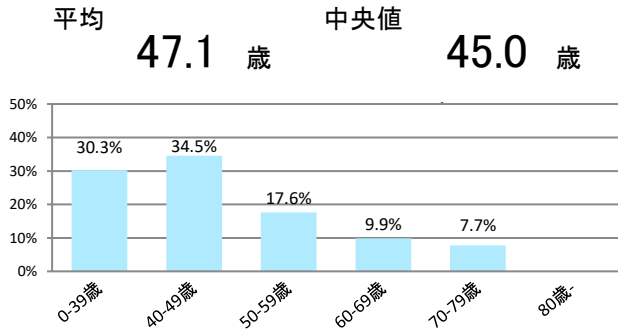
7-7. 部位別：子宮頸部

1. 登録数と男女割合

登録数	
全体	142

当院全登録数に占める子宮頸がんの割合 **6.1%**

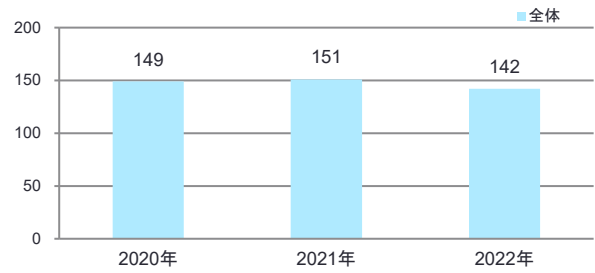
3. 年齢



5. 詳細部位別登録数

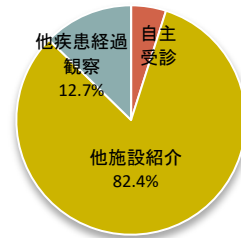
局在コード	部位名	登録数
C530	内頸部	0
C531	外頸部	0
C538	頸部境界部	0
C539	頸部詳細不明	142

2. 登録数の年次推移

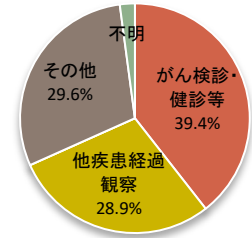


4. 来院経路と発見経緯

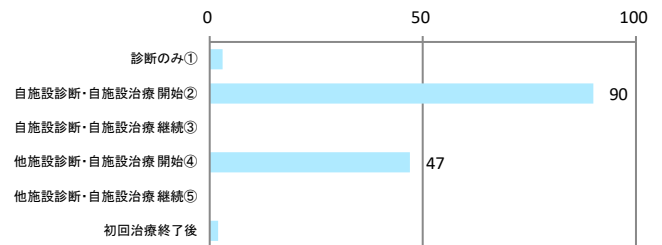
来院経路



発見経緯



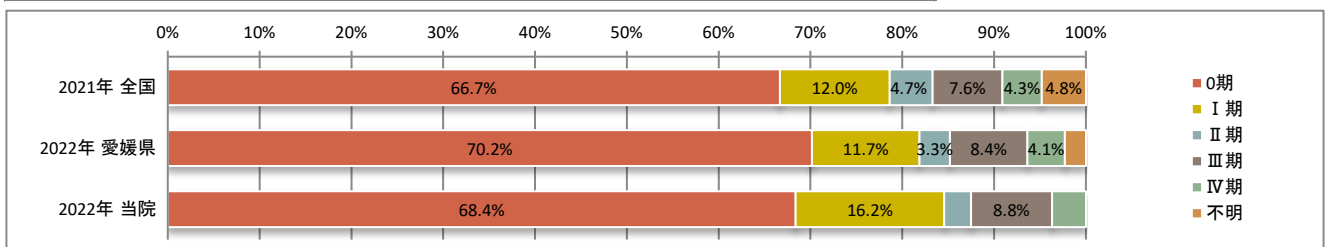
6. 症例区分



	登録数	割合
自施設責任症例 (自施設で初回治療が実施された症例) ②+③+④+⑤	137	96.5%
自施設でがんが診断された症例 ①+②+③	93	65.5%

7. UICC TNM 治療前ステージ別登録 <症例区分20~31(自施設責任症例)、病期分類対象のみ>

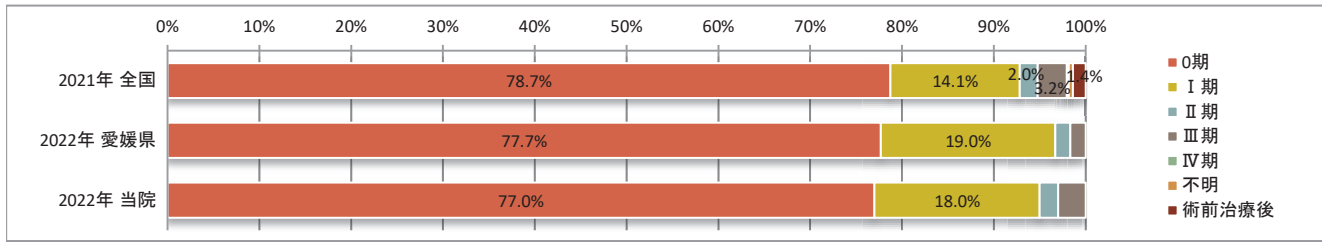
2022年	0期	I期	II期	III期	IV期	不明	合計
件数	93	22	(4~6)	12	(4~6)	0	136
割合	68.4%	16.2%	--	8.8%	--	--	



8. UICC TNM 術後病理学的ステージ別登録 <症例区分20~31(自施設責任症例)、病期分類対象のみ>

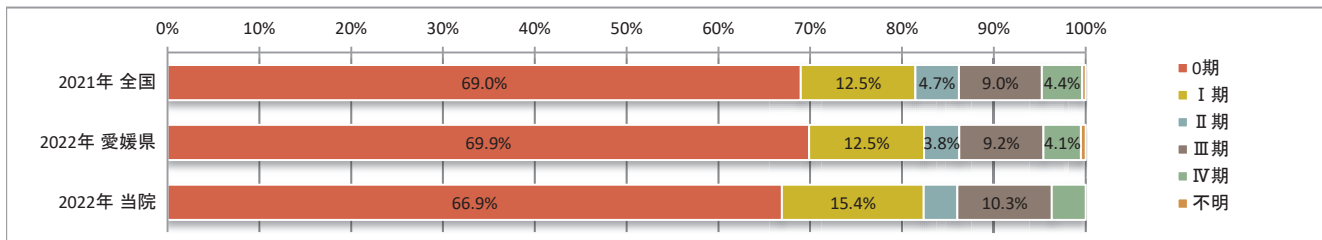
2022年	0期	I期	II期	III期	IV期	不明	術前治療後
件数	77	18	(1~3)	(1~3)	0	0	0
割合	77.0%	18.0%	--	--	--	--	--

	(他)0期	(他)I期	(他)II期	(他)III期	(他)IV期	(他)不明	合計
件数	0	0	0	0	0	0	100
割合	--	--	--	--	--	--	



9. UICC TNM 総合ステージ別登録 <症例区分20~31(自施設責任症例)、病期分類対象のみ>

2022年	0期	I期	II期	III期	IV期	不明	合計
件数	91	21	(4~6)	14	(4~6)	0	136
割合	66.9%	15.4%	--	10.3%	--	--	



10. UICC TNM 総合ステージ別 治療の件数 <症例区分20~31(自施設責任症例)、病期分類対象のみ、自施設で実施した初回治療のみ>

* 件数は延べ件数。外科的治療と化学療法を組み合わせを行った場合には、どちらの項目でもカウントされる。



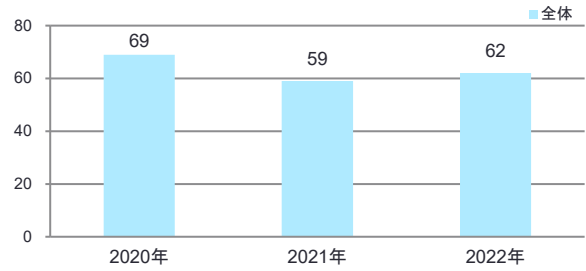
7-8. 部位別：子宮体部

1. 登録数と男女割合

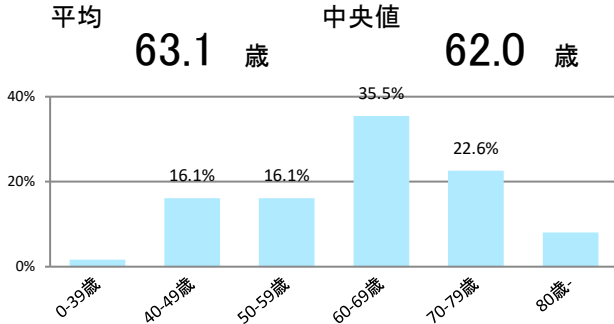
登録数	
全体	62

当院全登録数に占める子宮体がんの割合 **2.7%**

2. 登録数の年次推移

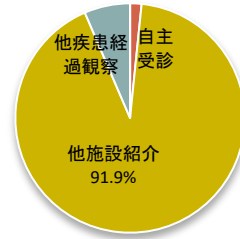


3. 年齢

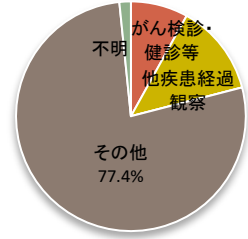


4. 来院経路と発見経緯

来院経路



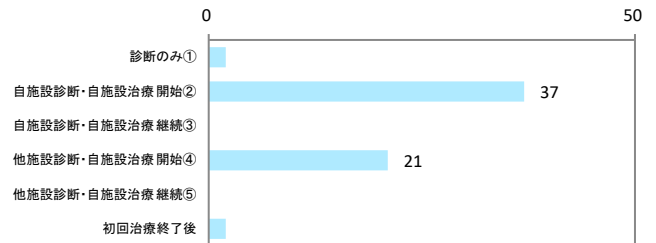
発見経緯



5. 詳細部位別登録数

局在コード	部位名	登録数
C540	子宮峡部	0
C541	子宮内膜	(1~3)
C542	子宮筋層	0
C543	子宮底部	(1~3)
C548	体部境界部	0
C549	体部詳細不明	59

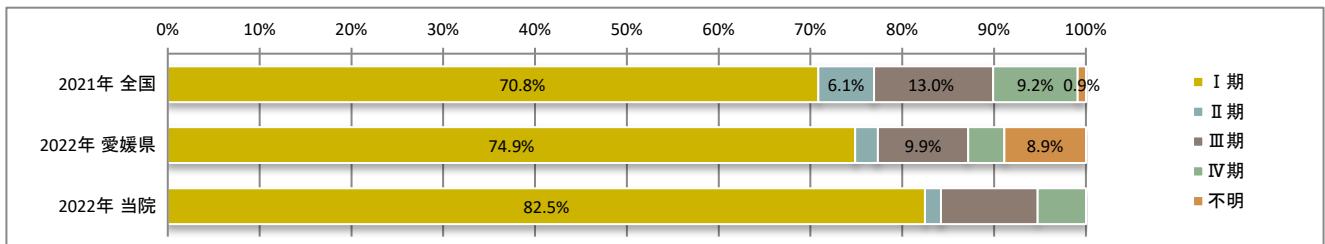
6. 症例区分



	登録数	割合
自施設責任症例 (自施設で初回治療が実施された症例) ②+③+④+⑤	58	93.5%
自施設でがんが診断された症例 ①+②+③	39	62.9%

7. UICC TNM 治療前ステージ別登録 <症例区分20~31(自施設責任症例)、病期分類対象のみ>

2022年	I 期	II 期	III 期	IV 期	不明	合計
件数	47	(1~3)	(4~6)	(1~3)	0	57
割合	82.5%	--	--	--	--	--

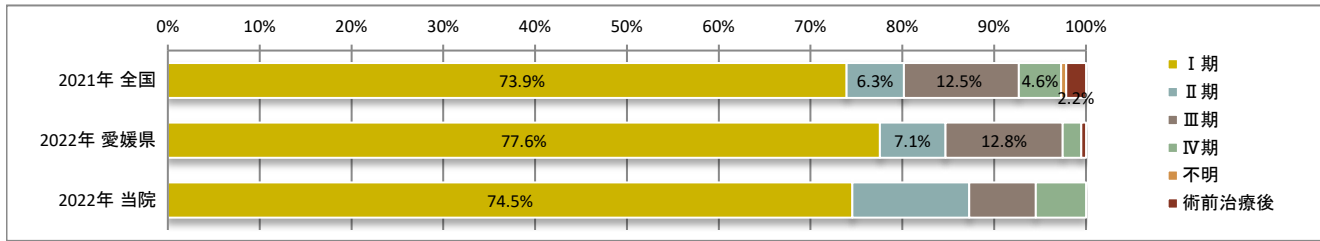


8. UICC TNM 術後病理学的ステージ別登録 <症例区分20~31(自施設責任症例)、病期分類対象のみ>

2022年	I 期	II 期	III 期	IV 期	不明	術前治療後
件数	41	(7~9)	(4~6)	(1~3)	0	0
割合	74.5%	--	--	--	--	--

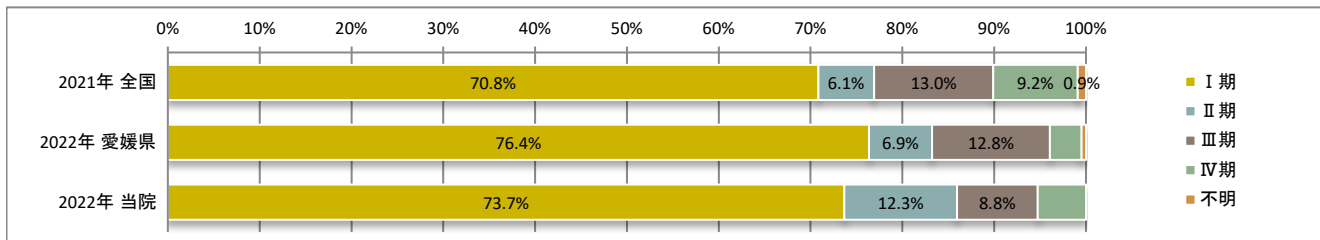
	(他)I 期	(他)II 期	(他)III 期	(他)IV 期	(他)不明	合計
件数	0	0	0	0	0	55
割合	--	--	--	--	--	--

四国がんセンター



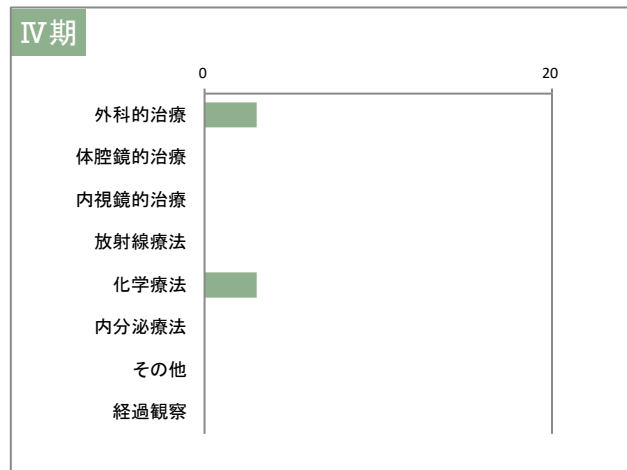
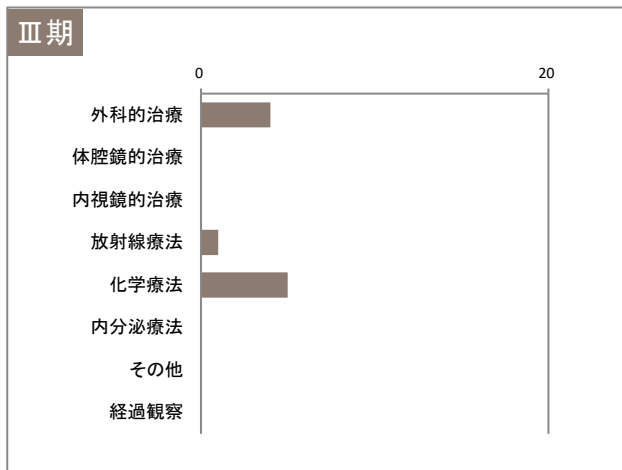
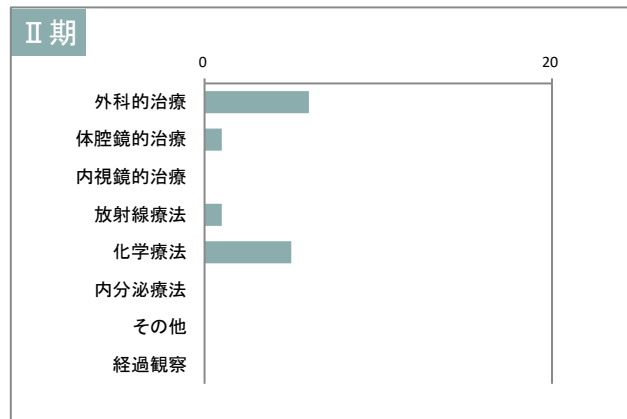
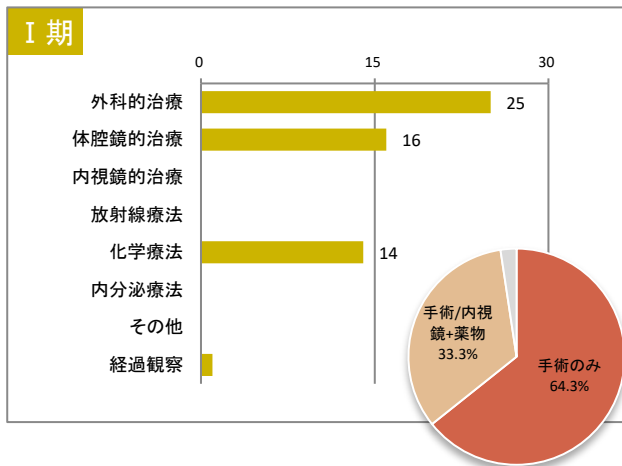
9. UICC TNM 総合ステージ別登録 <症例区分20~31(自施設責任症例)、病期分類対象のみ>

2022年	I期	II期	III期	IV期	不明	合計
件数	42	(7~9)	(4~6)	(1~3)	0	57
割合	73.7%	--	--	--	--	



10. UICC TNM 総合ステージ別 治療の件数 <症例区分20~31(自施設責任症例)、病期分類対象のみ、自施設で実施した初回治療のみ>

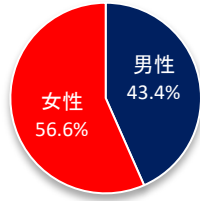
* 件数は延べ件数。外科的治療と化学療法を組み合わせで行った場合には、どちらの項目でもカウントされる。



7-9. 部位別:血液腫瘍

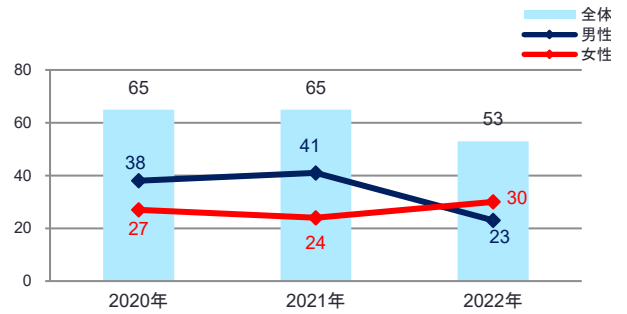
1. 登録数と男女割合

登録数	
全体	53
男性	23
女性	30



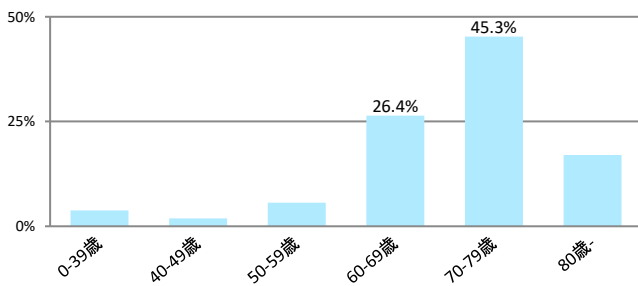
当院全登録数に占める血液腫瘍の割合 **2.3%**

2. 登録数の年次推移



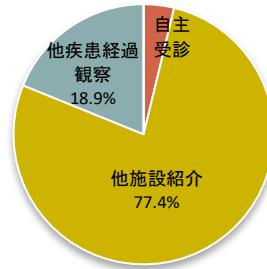
3. 年齢

平均 **70.4 歳** 中央値 **73.0 歳**

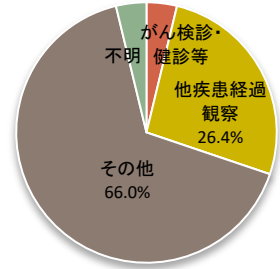


4. 来院経路と発見経緯

来院経路

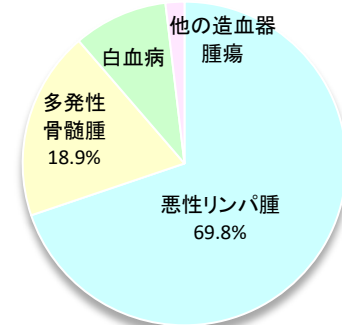


発見経緯



5. 分類別登録数

	2020年	2021年	2022年
悪性リンパ腫	47	48	37
多発性骨髄腫	(7~9)	(4~6)	10
白血病	(7~9)	(7~9)	(4~6)
他の造血器腫瘍	(4~6)	(4~6)	(1~3)

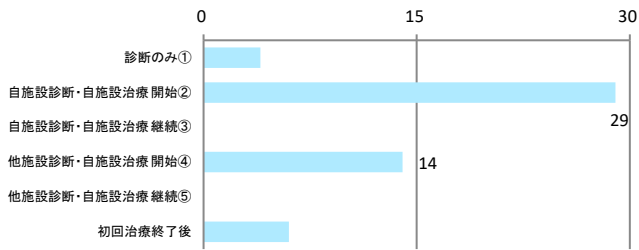


2022年分類別登録の割合

6. 詳細組織形態別登録数(WHO2017)

WHO2017に基づく分類		2020年	2021年	2022年
骨髄系腫瘍	骨髄増殖性疾患、肥満細胞症	(1~3)	(1~3)	(1~3)
	骨髄異形成・骨髄増殖性腫瘍・骨髄異形成症候群	(1~3)	(4~6)	(1~3)
	急性骨髄性白血病及び関連前駆細胞腫瘍	(4~6)	(4~6)	(1~3)
	分化系統不明瞭な急性白血病	0	0	0
	その他骨髄系腫瘍	0	0	0
リンパ系腫瘍	前駆型リンパ球系腫瘍	0	0	(1~3)
	成熟B細胞腫瘍	37	41	32
	形質細胞腫瘍	(7~9)	(4~6)	(7~9)
	成熟T細胞およびNK細胞腫瘍	(4~6)	(4~6)	(1~3)
	ホジキンリンパ腫	(4~6)	(1~3)	(1~3)
	その他リンパ系腫瘍	0	(1~3)	(1~3)
組織球及び樹状細胞腫瘍	0	0	0	
その他(上記で分類できないもの)	0	(1~3)	0	

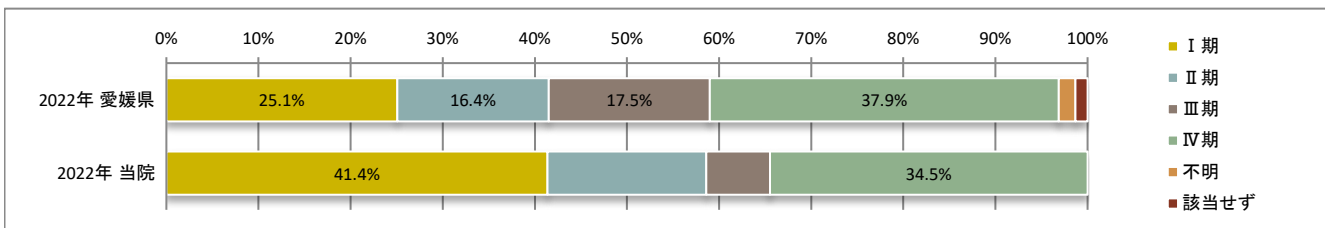
7. 症例区分



	登録数	割合
自施設責任症例 (自施設で初回治療が実施された症例) ②+③+④+⑤	43	81.1%
自施設でがんが診断された症例 ①+②+③	33	62.3%

8. UICC TNM 治療前ステージ別登録 <症例区分20~31(自施設責任症例)、悪性リンパ腫のみ>

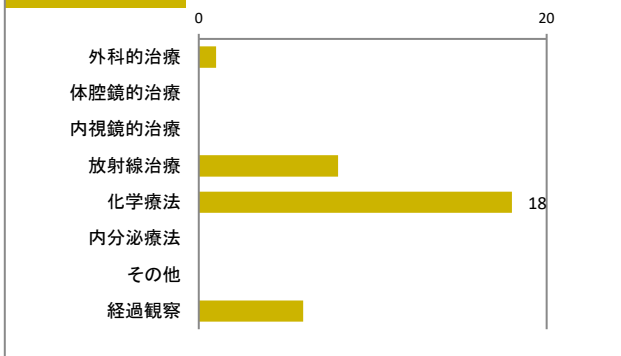
2022年	I 期	II 期	III 期	IV 期	不明	該当せず	合計
件数	12	(4~6)	(1~3)	10	0	0	29
割合	41.4%	--	--	34.5%	--	--	



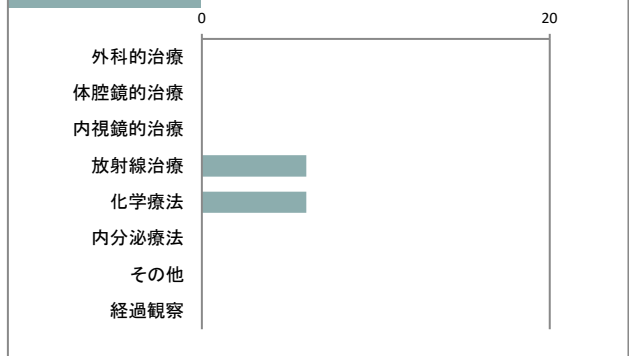
9. 治療の件数 <症例区分20~31(自施設責任症例)、自施設で実施した初回治療のみ>

* 件数は延べ件数。外科的治療と化学療法を組み合わせを行った場合には、どちらの項目でもカウントされる。

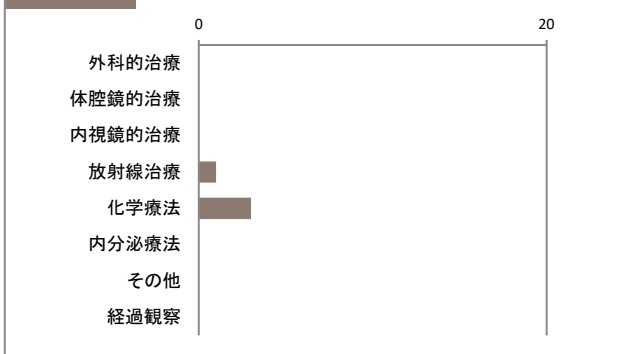
悪性リンパ腫



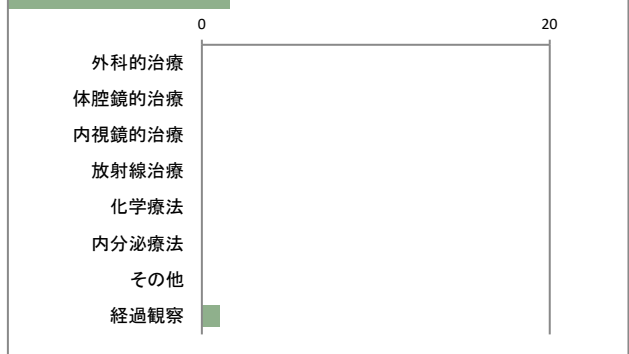
多発性骨髄腫



白血病



他の造血器腫瘍



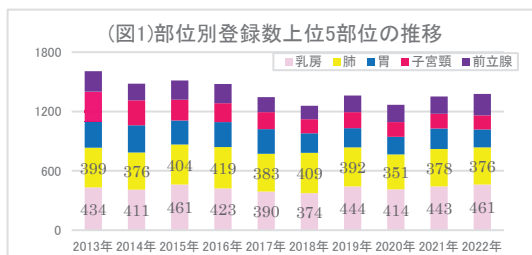
説明ポイントの解説

施設別集計まとめ

当院は、がんの診断から治療、緩和ケアに至るまでの一貫した医療を提供するがん専門病院である。がん専門病院は平均的ながん種別登録割合と大きく異なることが特徴であるが、当院でも「乳房」「肺」「子宮頸部」の登録割合が高く、長年にわたり上位を占めている（図1、図3）。これらは施設集積性が高いがん種である。

2022年集計では、コロナ禍の影響を受けて減少していた総登録数が、コロナ禍前の水準に戻った。検診離れや受診制限が緩和され、「がん検診等の発見」「初回治療後の受診」が増加した。検診発見では「子宮頸部」が前年より4.3%増加している。初回治療終了後の受診では、ゲノム医療を求めて受診される患者様が増えてきていることが特徴として挙げられる。ゲノム外来受診数は、2020年から60件→109件→114件と年々増加した。『がんゲノム拠点病院』である当院の役割の重要性を反映している。

また、年齢階級別登録数では、男女共に70-79歳が大きく増加しており、高齢者や合併症がある方にも安心して治療が受けられるよう近年整備した『併存疾患センター』の効果と思われる。

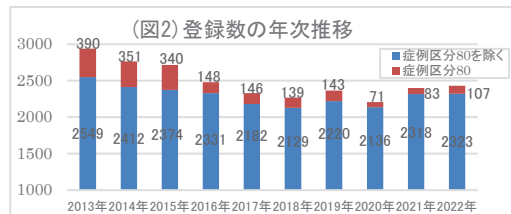


説明ポイント①

登録数は前年より29件増加した。

症例区分80を含む登録数は、前年に比べ29件増加したが、症例区分80を除く登録数は5件の増加にとどまった。過去10年の年次推移では2013年から減少し、2020年に最も登録数が少なくなったが、

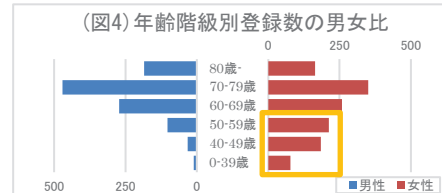
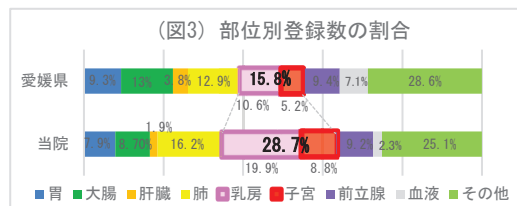
2021、2022年からは反転している。（図2）



説明ポイント②

部位別登録数をみると、女性特有の疾患の割合が高い。

当院は女性特有の疾患である「乳房」と「子宮」を合わせた割合が高く、全体の28.7%を占めている。愛媛県全体（15.8%）よりも12.9%高い（図3）。この割合は過去5年をみてもほぼ同じ割合が続いている。これらの疾患は、比較的若年層の女性に多い疾患であり、当院の特徴として挙げられる。その層の患者様が多いことの原因となる（図4）。



説明ポイント③

症例区分を全国・愛媛県と比較すると「診断のみ」が少なく「他施設診断・自施設初回治療開始」が多い。

症例区分の「診断のみ」は2.2%で、前年より1.1%（27件）減少した。全国（7.2%）、愛媛県（10.4%）と比較しても少ない。「他施設診断・自施設治療開始」は27.1%で、前年より0.7%（9件）減少したが、全国（18.6%）愛媛県（16.7%）より多い。また、「初回治療終了後」は9.2%で、前年よ

り 1.3%(37 件) 増加した。初回治療終了後の受診目的は、半数以上が治験や再発治療等の積極的治療であった。当院は臨床研究にも積極的に取り組み、治験実績も高い。

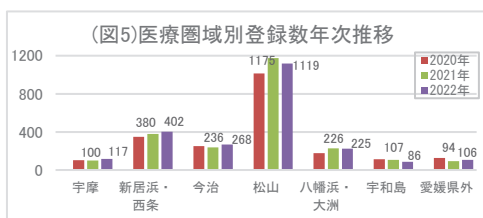
説明ポイント④

医療圏域別登録数は、松山圏域以外が半数以上を占めている。

当院は都道府県がん診療連携拠点病院として愛媛県全域を担当医療圏としている。所在は松山圏域であるが、所在圏域以外の登録数が半数以上(51.9%)を占めているのが当院の特徴の1つである。

医療圏域別登録数を前年と比べると、それぞれ、松山圏域と宇和島圏域で 56 件と 21 件減少し、宇摩圏域・新居浜西条圏域・今治圏域で 17 件、22 件、32 件増加した。

松山圏域が前年より減少した要因として、他拠点病院のコロナ禍による受診制限が 2022 年には解けたことが考えられる。その結果 2021 年は登録数が増加し、2022 年は元の件数に戻りつつあると考える。(図 5)



説明ポイント⑤

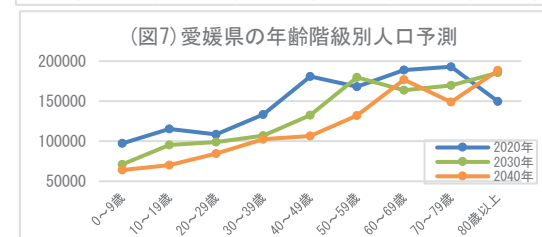
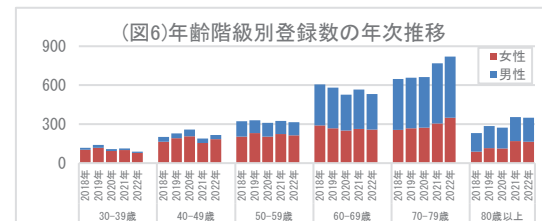
年齢階級別登録数の年次推移では、40歳代と70歳代が前年より増加した。

年齢階級別では、前年より 40-49 歳が 28 件(1.1%)、70-79 歳が 52 件(2.2%)増加した。特に 70-79 歳の増加が著しい。

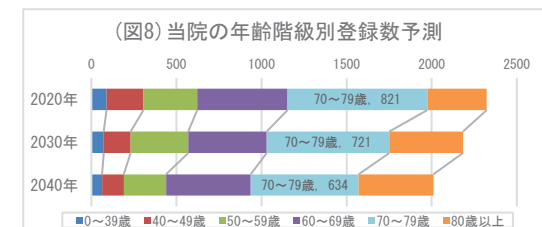
男女別にみると 40-49 歳は女性が増え、70-79 歳は男女共に増加している。(図 6)

図 7 を見ると、愛媛県の年齢階級別人口構成は 2020 年では 70 歳代が最も高いが、2040 年では 80 歳代が最多となり、59 歳以下は大きく数が減る。それにより大きくがん登録数の割合は変わるが、特に当院は強い影

響を受けるであろうと予測される。(図 8)



国立社会保障・人口問題研究所『日本の地域別将来推計人口(令和5年推計)』参照



説明ポイント⑥

発見経緯では「がん検診・健診等」の割合が愛媛県に比べて高い。

発見経緯の「がん検診・健診等」は 19.3%で、前年より 43 件(1.8%)増加した。当院は、愛媛県(11.9%)に比べて割合が高い。検診発見はコロナ禍による影響を受けており、2020 年で低下した割合も 2022 年には回復した。(表 1)

検診等を契機に診断されたがんの割合が愛媛県全体よりかなり高い点は検診が重要ながん種の登録数が多い当院の特徴を反映している。(図 9)

(表 1)愛媛県・当院「がん検診・健診等」の割合

	2018年	2019年	2020年	2021年	2022年
愛媛県	11.6%	12.0%	9.9%	11.9%	11.9%
当院	18.5%	19.2%	15.8%	17.4%	19.3%

